

## ■ 第2章 ■

# 高齢者の生活実態 ・意識調査

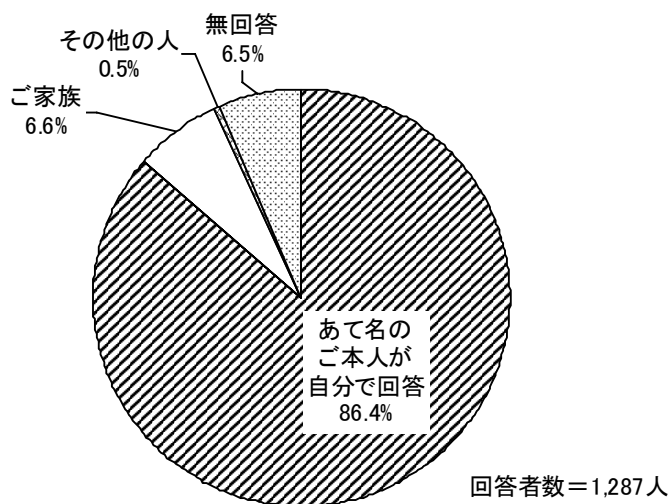
# 1. 回答者の基本属性

---

## (1) 回答者(問1)

はじめに、この調査に回答される方を教えてください。(1つに○)

図表 2-1 回答者(単数回答)

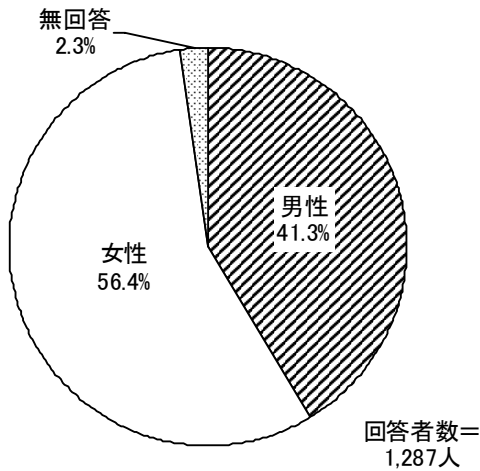


高齢者の生活実態・意識調査の回答者は、「あて名のご本人が自分で回答」が 86.4%を占めている。

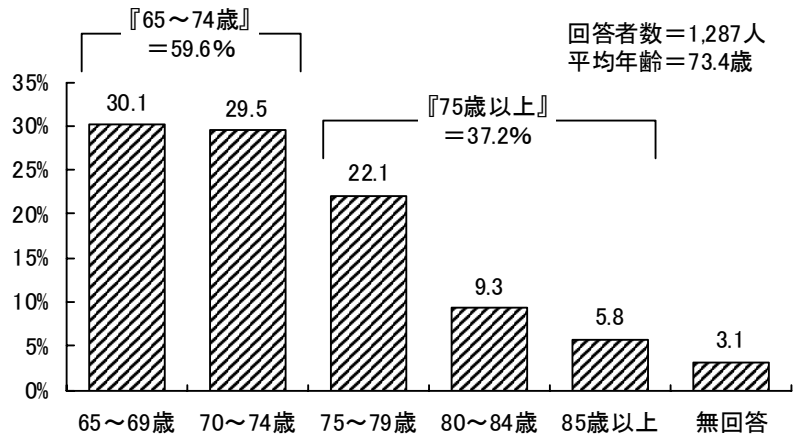
(2) 男女別と年齢(問2)

あなた(あて名のご本人)の性別と、平成20年1月1日現在の満年齢をお答えください。

図表 2-2 男女別(単数回答)



図表 2-3 年齢(単数回答)



男女別は、「男性」41.3%に対して、「女性」が56.4%と「男性」を15.1ポイント上回っている。

年齢は、「65～69歳」が30.1%ともっとも高く、次いで「70～74歳」29.5%と、これらを合わせた『65～74歳』の年齢層が全体の約6割を占め、平均年齢は73.4歳となっている。

図表 2-4 年齢

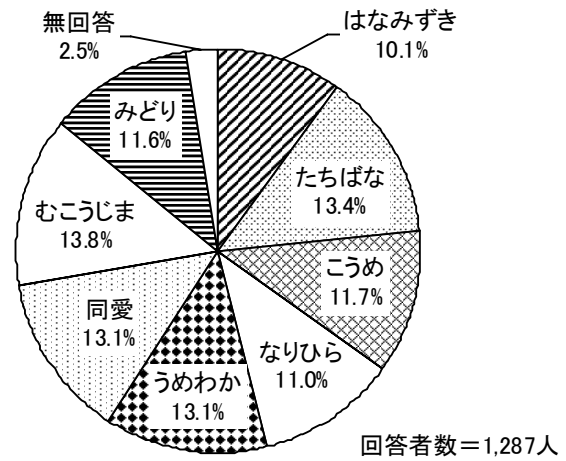
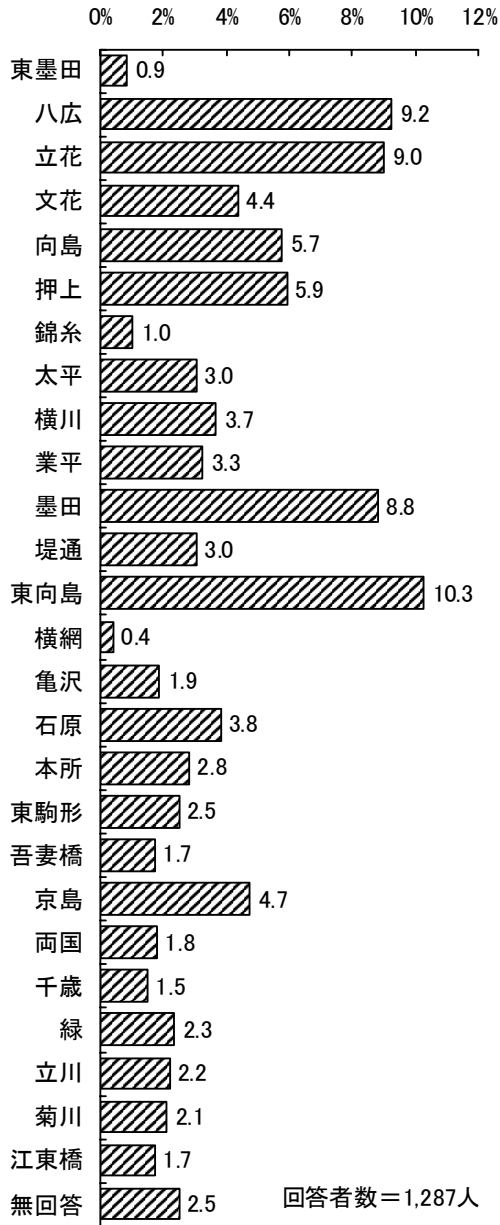
		回答者数(人)	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 歳 以上	無 回 答	『 65 ～ 74 歳 』	『 75 歳 以上 』	平均 年 齢 (歳)
全 体		1,287	30.1	29.5	22.1	9.3	5.8	3.1	59.6	37.2	73.4
男 女 別	男性	531	30.9	29.0	24.5	9.2	5.6	0.8	59.9	39.3	73.4
	女性	726	30.3	30.4	20.9	9.8	6.2	2.3	60.7	36.9	73.4

男女別にみると、年齢構成に男女による差はみられない。

(3) 居住地(問4)

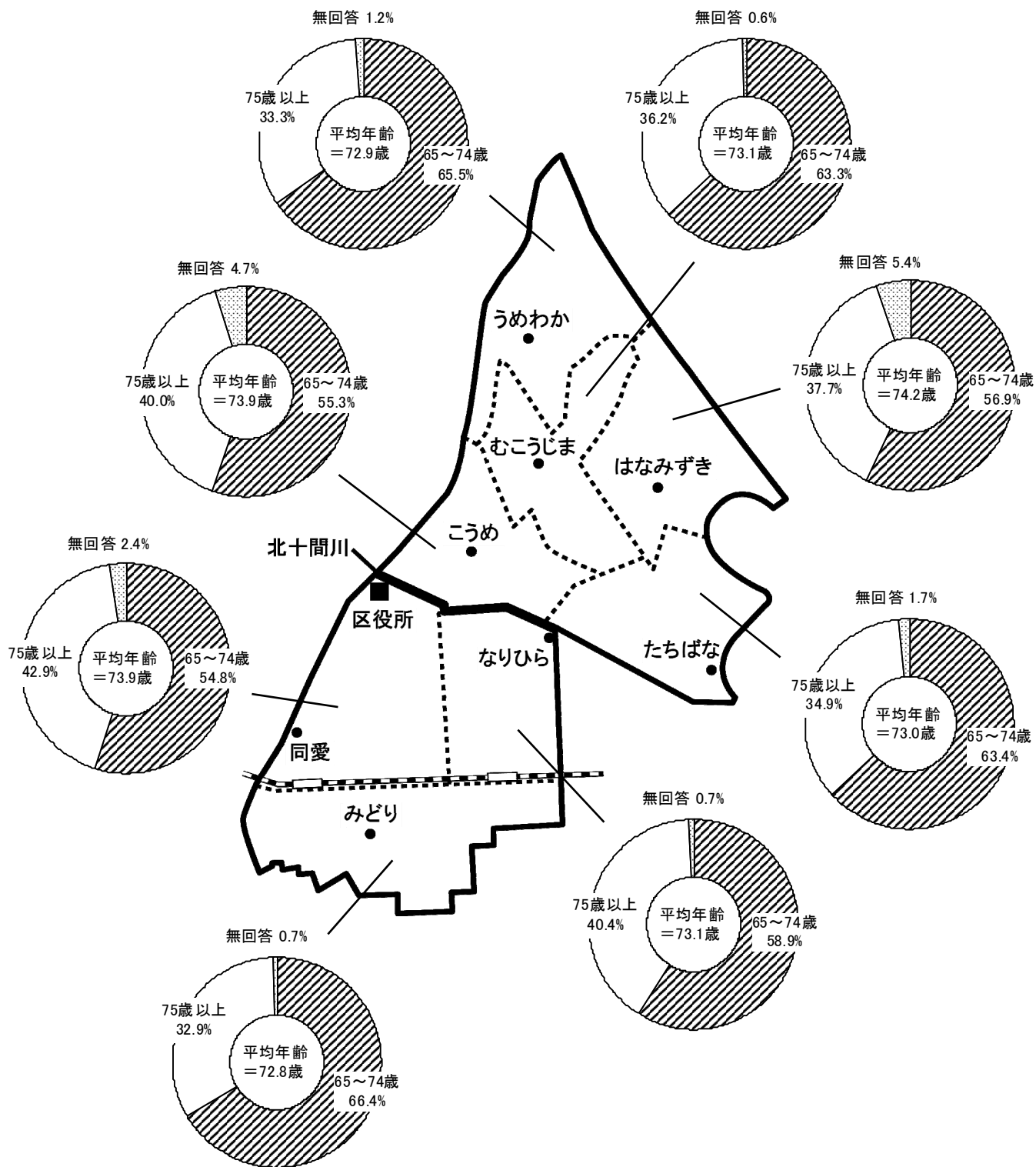
あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいはどこですか。

図表 2-5 居住地(各単数回答)



8つの地域包括支援センター管内別の居住地は、「むこうじま」13.8%、「たちばな」13.4%、「うめわか」「同愛」各13.1%、「こうめ」11.7%、「みどり」11.6%、「なりひら」11.0%、「はなみずき」10.1%の順となっている。

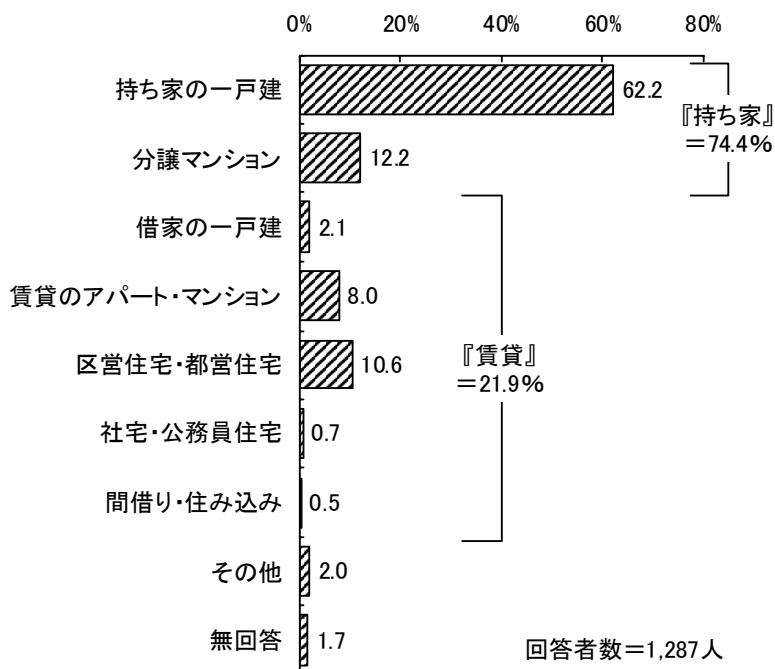
図表 2-6 居住地域別にみた回答者の年齢



#### (4)住宅形態(問3)

あなた(あて名のご本人)がお住まいの住宅は、次のどれですか。(1つに○)

図表 2-7 住宅形態(単数回答)



※『持ち家』 = 「持ち家の一戸建」 + 「分譲マンション」

※『賃貸』 = 「借家の一戸建」 + 「賃貸のアパート・マンション」 + 「区営住宅・都営住宅」 + 「社宅・公務員住宅」 + 「間借り・住み込み」

住宅形態は、「持ち家の一戸建」が 62.2%、次いで「分譲マンション」12.2%と、これらを合わせた『持ち家』が 74.4%と約 4 人に 3 人の割合となっている。続いて、「区営住宅・都営住宅」が 10.6%と約 1 割を占めている。

図表 2-8 住宅形態

		回答者数(人)	持ち家の一戸建	分譲マンション	借家の一戸建	賃貸のアパート・マンション	区営住宅・都営住宅	社宅・公務員住宅	間借り・住み込み	その他	無回答	『持ち家』	『賃貸』
全 体		1,287	62.2	12.2	2.1	8.0	10.6	0.7	0.5	2.0	1.7	74.4	21.9
男女別	男性	531	64.0	11.3	2.3	8.9	9.8	0.9	0.9	1.7	0.2	75.3	22.8
	女性	726	62.3	12.8	1.9	7.6	11.4	0.4	0.1	2.3	1.1	75.1	21.4
年齢別	65～69 歳	388	55.2	16.5	2.1	9.5	11.6	1.0	1.0	2.6	0.5	71.7	25.2
	70～74 歳	380	64.5	8.7	2.1	10.3	11.8	0.3	0.3	1.3	0.8	73.2	24.8
	75～79 歳	284	65.8	14.8	2.1	5.3	9.2	1.1	0.4	1.4	0.0	80.6	18.1
	80～84 歳	120	74.2	8.3	2.5	2.5	6.7	0.8	0.0	4.2	0.8	82.5	12.5
	85 歳以上	75	65.3	9.3	2.7	9.3	10.7	0.0	0.0	2.7	0.0	74.6	22.7
居住地別	はなみずき	130	71.5	5.4	4.6	7.7	6.9	1.5	0.0	0.8	1.5	76.9	20.7
	たちばな	172	46.5	10.5	0.6	7.0	32.0	0.0	0.0	2.9	0.6	57.0	39.6
	こうめ	150	66.0	13.3	2.7	10.7	2.0	0.7	0.7	4.0	0.0	79.3	16.8
	なりひら	141	47.5	23.4	0.7	7.1	17.0	0.0	1.4	1.4	1.4	70.9	26.2
	うめわか	168	58.9	6.5	3.0	6.0	22.6	0.0	0.0	3.0	0.0	65.4	31.6
	同愛	168	73.2	13.1	0.6	10.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	86.3	12.5
	むこうじま	177	79.7	6.8	4.0	6.2	0.0	0.6	0.6	1.7	0.6	86.5	11.4
	みどり	149	61.1	22.1	1.3	8.1	1.3	2.7	0.0	2.0	1.3	83.2	13.4
家族形態別	ひとり暮らし	246	44.3	16.7	2.0	19.9	13.4	0.0	0.4	2.0	1.2	61.0	35.7
	夫婦のみ世帯	537	65.4	12.8	1.9	5.4	11.5	1.3	0.0	1.3	0.4	78.2	20.1
	世帯全員が 65 歳以上	30	66.7	10.0	3.3	6.7	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0	76.7	20.0
	二世帯・三世帯 等の世帯	434	70.3	9.7	2.5	4.6	8.3	0.5	0.7	2.8	0.7	80.0	16.6

※『持ち家』＝「持ち家の一戸建」＋「分譲マンション」

※『賃貸』＝「借家の一戸建」＋「賃貸のアパート・マンション」＋「区営住宅・都営住宅」＋「社宅・公務員住宅」  
＋「間借り・住み込み」

※家族形態の集計結果は、17 ページ参照

居住地域別にみると、はなみずき、同愛、むこうじま地区は「持ち家の一戸建」、なりひら、みどり地区は「分譲マンション」、たちばな、うめわか地区は「区営住宅・都営住宅」居住者の割合が、それぞれ他の地域に比べて高い。

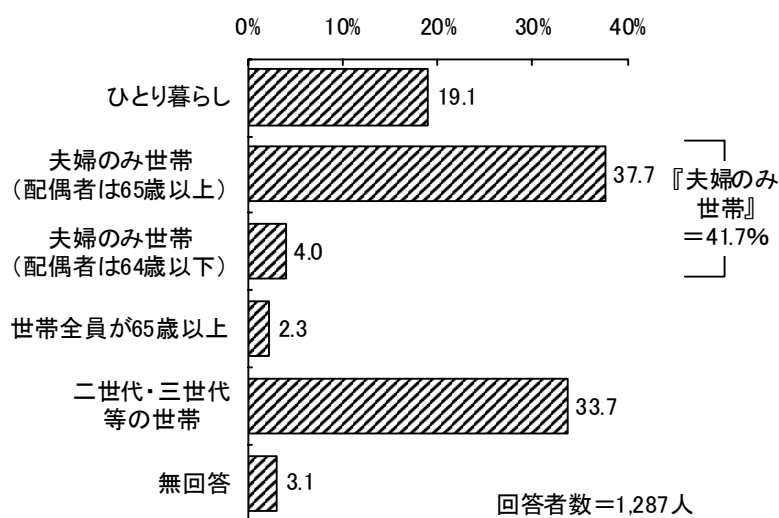
家族形態別にみると、ひとり暮らしの人は、『持ち家』住宅居住者の割合は 6 割強と他に比べて低く、「賃貸のアパート・マンション」19.9%、「区営住宅・都営住宅」13.4%などの『賃貸』住宅居住者の割合が高い。

## 2. 家族等の状況

### (1) 家族形態(問5)

あなた(あて名のご本人)の現在の家族構成は、次のどれですか。(1つに○)

図表 2-9 家族形態(単数回答)



※『夫婦のみ世帯』=「夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)」+「夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)」

家族形態は、「夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)」37.7%がもっとも高く、「夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)」4.0%と合わせた4割強が『夫婦のみ世帯』となっている。次いで、65歳未満の人との同居等の世帯である「二世帯・三世帯等の世帯」33.7%、「ひとり暮らし」19.1%と続いている。



図表 2-10 家族形態

		回答者数(人)	ひとり暮らし	夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)	夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)	世帯全員が65歳以上	二世帯・三世帯等の世帯	無回答	『夫婦のみ世帯』
全 体		1,287	19.1	37.7	4.0	2.3	33.7	3.1	41.7
男女別	男性	531	12.6	43.5	8.9	1.1	32.4	1.5	52.4
	女性	726	24.2	33.9	0.4	3.3	35.8	2.3	34.3
年齢別	65～69 歳	388	19.1	33.5	9.5	2.8	33.5	1.5	43.0
	70～74 歳	380	16.6	44.2	2.6	2.1	32.4	2.1	46.8
	75～79 歳	284	19.7	44.4	1.1	1.8	31.0	2.1	45.5
	80～84 歳	120	25.8	27.5	0.8	0.8	44.2	0.8	28.3
	85 歳以上	75	24.0	25.3	0.0	5.3	40.0	5.3	25.3
居住地域別	はなみずき	130	16.9	35.4	0.0	3.1	43.1	1.5	35.4
	たちばな	172	22.7	37.8	5.2	1.2	31.4	1.7	43.0
	こうめ	150	21.3	34.0	6.7	4.0	31.3	2.7	40.7
	なりひら	141	16.3	37.6	4.3	1.4	38.3	2.1	41.9
	うめわか	168	22.0	36.9	4.2	1.8	33.9	1.2	41.1
	同愛	168	16.7	39.3	3.0	2.4	35.7	3.0	42.3
	むこうじま	177	19.2	43.5	2.8	1.7	32.2	0.6	46.3
	みどり	149	18.1	39.6	5.4	2.7	31.5	2.7	45.0

※『夫婦のみ世帯』＝「夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)」＋「夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)」

男女別にみると、男性は半数強が『夫婦のみ世帯』であるのに対して、女性は3割台であり、「ひとり暮らし」の割合が24.2%と男性に比べて高い。

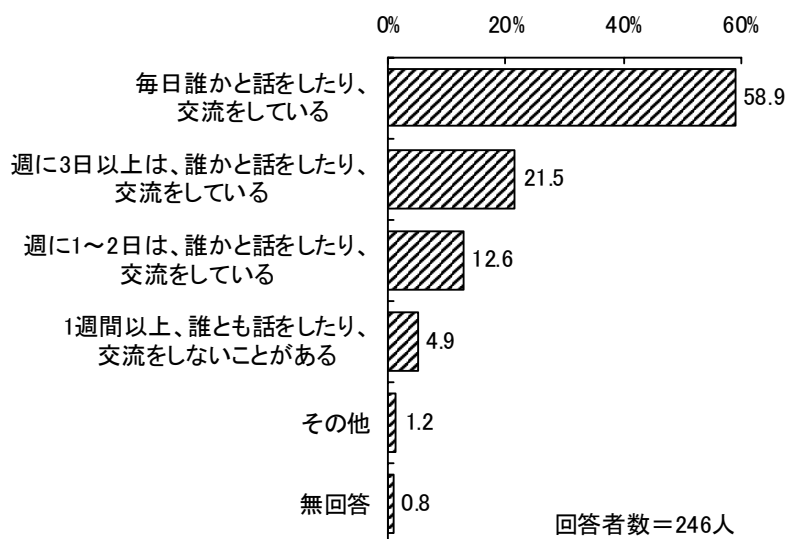
年齢別にみると、79歳以下の年齢層では『夫婦のみ世帯』が4割台を占めてもっとも高い。80歳以上になると「二世帯・三世帯等の世帯」の割合がもっとも高く、また、「ひとり暮らし」が2割台と、79歳以下の年齢層に比べて高い割合となっている。

居住地域別にみると、他に比べて「ひとり暮らし」の人の割合が高いのは、たちばな、こうめ、うめわか地区となっている。

## (2) 家族や知人との交流頻度(問5付問)

あなた(あて名のご本人)は、どのくらい家族・知人等と連絡をとりあったり(電話も含む)、交流をしていますか。(1つに○)

図表 2-11 家族や知人との交流頻度(単数回答)



ひとり暮らしの人の家族や知人との交流頻度は、「毎日誰かと話をしたり、交流をしている」が58.9%と6割近い一方、「週に1~2日は、誰かと話をしたり、交流をしている」12.6%、「1週間以上、誰とも話をしたり、交流をしないことがある」4.9%と、17.5%は交流頻度が週3日未満となっている。

図表 2-12 家族や知人との交流頻度

		回答者数(人)	毎日誰かと話をしたり、交流をしている	週に3日以上は、誰かと話をしたり、交流をしている	週に1～2日は、誰かと話をしたり、交流をしている	1週間以上、誰とも話をしたり、交流をしないことがある	その他	無回答
全体		246	58.9	21.5	12.6	4.9	1.2	0.8
男女別	男性	67	46.3	16.4	17.9	14.9	3.0	1.5
	女性	176	63.6	23.9	10.2	1.1	0.6	0.6
年齢別	65～69歳	74	54.1	27.0	12.2	4.1	2.7	0.0
	70～74歳	63	57.1	17.5	12.7	11.1	1.6	0.0
	75～79歳	56	53.6	25.0	14.3	3.6	0.0	3.6
	80～84歳	31	67.7	22.6	9.7	0.0	0.0	0.0
	85歳以上	18	83.3	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0
居住地域別	はなみずき	22	59.1	22.7	9.1	0.0	4.5	4.5
	たちばな	39	56.4	17.9	20.5	5.1	0.0	0.0
	こうめ	32	59.4	18.8	9.4	9.4	3.1	0.0
	なりひら	23	43.5	34.8	17.4	0.0	0.0	4.3
	うめわか	37	56.8	29.7	0.0	10.8	2.7	0.0
	同愛	28	64.3	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0
	むこうじま	34	67.6	11.8	14.7	5.9	0.0	0.0
	みどり	27	63.0	25.9	7.4	3.7	0.0	0.0

男女別にみると、女性は6割台が「毎日誰かと話をしたり、交流をしている」と回答している。一方、男性では4割台であり、「週に1～2日は、誰かと話をしたり、交流をしている」17.9%、「1週間以上、誰とも話をしたり、交流をしないことがある」14.9%と、これらを合わせた32.8%が、週3日未満の交流頻度となっている。

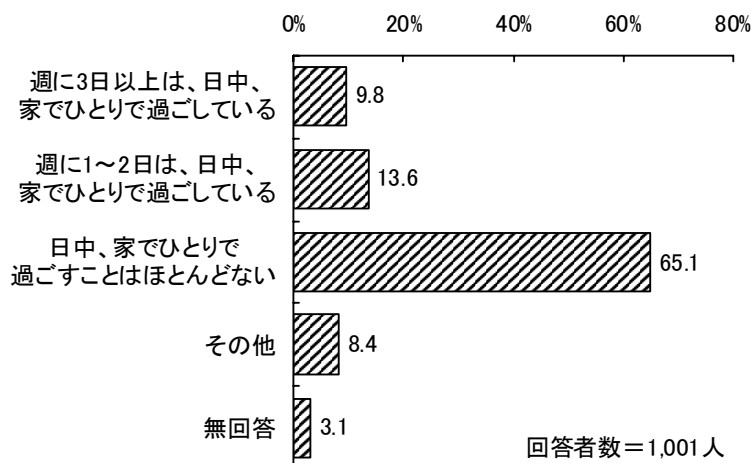
年齢別にみると、「毎日誰かと話をしたり、交流をしている」割合は、65～79歳の年齢層で5割台と、80～84歳の6割台、85歳以上の8割台に比べて低くなっている。

居住地域別にみると、たちばな、こうめ、同愛、むこうじま地区において、交流頻度が週3日未満の人の割合が他に比べて高い。

### (3) 日中独居の状況(問5付問)

あなた(あて名のご本人)は、日中、家でひとりで過ごすことがどのくらいありますか。  
(1つに○)

図表 2-13 日中独居の状況(単数回答)



ひとり暮らし以外の人の日中独居の状況は、「日中、家でひとりで過ごすことはほとんどない」が65.1%を占める。

一方、「週に1~2日は、日中、家でひとりで過ごしている」13.6%、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」9.8%と、2割強は週に1日以上、家でひとりで過ごすことがあると回答している。

図表 2-14 日中独居の状況

		回答者数(人)	週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている	週に1～2日は、日中、家でひとりで過ごしている	日中、家でひとりで過ごすことはほとんどない	その他	無回答
全 体		1,001	9.8	13.6	65.1	8.4	3.1
男女別	男性	456	8.3	14.0	64.0	10.1	3.5
	女性	533	11.3	13.3	65.7	6.9	2.8
年齢別	65～69 歳	308	8.1	14.6	63.0	11.0	3.2
	70～74 歳	309	9.4	12.3	69.9	6.5	1.9
	75～79 歳	222	9.0	14.4	65.3	6.3	5.0
	80～84 歳	88	13.6	11.4	64.8	8.0	2.3
	85 歳以上	53	17.0	15.1	54.7	11.3	1.9
居住地域別	はなみずき	106	8.5	7.5	67.0	13.2	3.8
	たちばな	130	9.2	11.5	67.7	8.5	3.1
	こうめ	114	14.9	14.0	64.0	5.3	1.8
	なりひら	115	10.4	24.3	53.0	7.8	4.3
	うめわか	129	8.5	11.6	67.4	9.3	3.1
	同愛	135	9.6	15.6	65.9	5.9	3.0
	むこうじま	142	10.6	14.8	62.7	7.7	4.2
	みどり	118	7.6	9.3	71.2	11.0	0.8
家族形態別	夫婦のみ世帯	537	8.6	15.5	66.1	6.7	3.2
	世帯全員が65歳以上	30	6.7	10.0	80.0	3.3	0.0
	二世帯・三世帯等の世帯	434	11.5	11.5	62.9	10.8	3.2

男女別にみると、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」割合は、男性8.3%に比べて、女性11.3%と高い。

年齢別にみると、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」割合は、80歳以上で1割を超え、85歳以上では「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」が17.0%、「週に1～2日は、日中、家でひとりで過ごしている」が15.1%となっている。

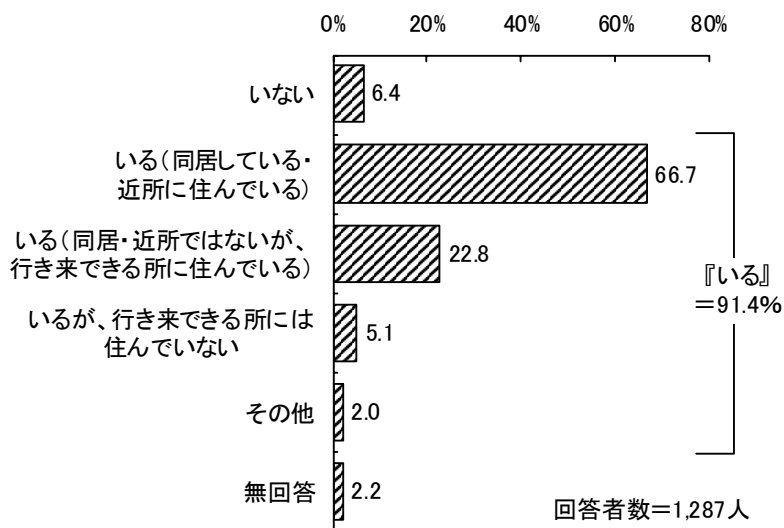
居住地域別にみると、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」割合は、こうめ、なりひら、むこうじま地区居住者において1割を超え、他に比べて高い。

家族形態別にみると、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」割合は、他に比べて二世帯・三世帯等の世帯の人に高くなっている。

#### (4) 支えてくれる家族や知人の有無(問6)

あなた(あて名のご本人)には、家事や介護などに困った時、相談したい時などに、支えて(助けて)くれる家族・知人等がいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-15 支えてくれる家族や知人の有無(複数回答)



※『いる』=100%－「いない」－「無回答」

支えてくれる家族や知人は「いない」は6.4%であり、91.4%が『いる』と回答している。

「いる(同居している・近所に住んでいる)」は66.7%、「いる(同居・近所ではないが、行き来できる所に住んでいる)」は22.8%、「いるが、行き来できる所には住んでいない」は5.1%となっている。

図表 2-16 支えてくれる家族や知人の有無

		回答者数(人)	いない	いる(同居している・近所に住んでいる)	いる(同居・近所ではないが、行き来できる所に住んでいる)	いるが、行き来できる所には住んでいない	その他	無回答	『いる』
全体		1,287	6.4	66.7	22.8	5.1	2.0	2.2	91.4
男女別	男性	531	8.7	67.0	20.0	4.9	1.3	3.2	88.1
	女性	726	4.7	66.5	25.1	5.2	2.6	1.1	94.2
年齢別	65～69歳	388	9.0	64.4	23.7	5.2	2.8	1.5	89.5
	70～74歳	380	6.3	64.7	22.6	6.1	2.1	1.6	92.1
	75～79歳	284	5.3	66.2	24.3	5.6	1.8	2.8	91.9
	80～84歳	120	4.2	80.0	16.7	2.5	0.8	1.7	94.1
	85歳以上	75	2.7	72.0	20.0	2.7	1.3	4.0	93.3
居住地域別	はなみずき	130	1.5	72.3	18.5	6.2	2.3	3.8	94.7
	たちばな	172	7.6	66.3	22.1	5.8	2.3	2.9	89.5
	こうめ	150	8.0	66.0	21.3	6.7	0.0	2.0	90.0
	なりひら	141	2.8	65.2	24.8	5.7	2.8	3.5	93.7
	うめわか	168	8.3	64.3	24.4	4.2	4.2	1.8	89.9
	同愛	168	7.7	66.1	23.2	3.0	1.2	0.6	91.7
	むこうじま	177	6.2	68.9	23.7	6.8	0.6	1.1	92.7
	みどり	149	8.1	63.1	24.8	3.4	3.4	1.3	90.6
家族形態別	ひとり暮らし	246	15.0	39.8	34.6	9.3	1.6	3.3	81.7
	夫婦のみ世帯	537	6.1	63.7	26.3	5.4	1.1	2.0	91.9
	世帯全員が65歳以上	30	3.3	70.0	20.0	3.3	6.7	0.0	96.7
	二世帯・三世帯等の世帯	434	1.8	85.7	12.0	2.5	3.2	1.4	96.8

※『いる』=100%－「いない」－「無回答」

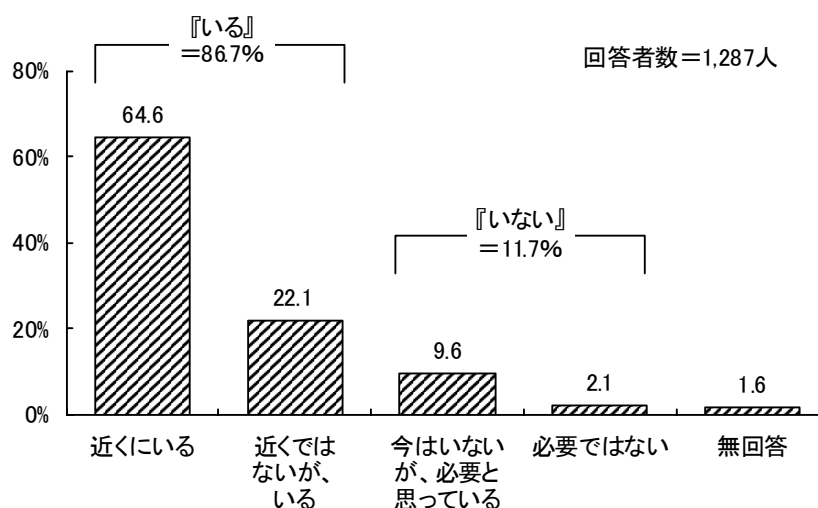
支えてくれる家族や知人が「いない」人の割合は、男女別では男性、年齢別では65～69歳の年齢層、居住地域別ではこうめ、うめわか、みどり地区、家族形態別ではひとり暮らしの人に高くなっている。

### 3. 健康状態

#### (1) かかりつけ医の有無(問7)

あなた(あて名のご本人)には、かかりつけの医師がいますか。(1つに○)

図表 2-17 かかりつけ医の有無(単数回答)



※『いる』 = 「近くにいる」 + 「近くではないが、いる」

※『いない』 = 「今はいないが、必要と思っている」 + 「必要ではない」

かかりつけ医の有無をみると、「近くにいる」は64.6%であり、「近くではないが、いる」22.1%を合わせたかかりつけ医が『いる』人の割合は、86.7%を占める。

「今はいないが、必要と思っている」は9.6%、「必要ではない」は2.1%となっている。



図表 2-18 かかりつけ医の有無

		回答者数(人)	近くにいる	近くではないが、いる	今はいないが、必要と 思っている	必要ではない	無回答	『いる』	『いない』
全 体		1,287	64.6	22.1	9.6	2.1	1.6	86.7	11.7
男女別	男性	531	63.5	22.0	9.4	3.0	2.1	85.5	12.4
	女性	726	66.3	21.8	9.8	1.4	0.8	88.1	11.2
年齢別	65～69 歳	388	57.2	21.6	16.8	3.1	1.3	78.8	19.9
	70～74 歳	380	67.9	20.0	8.9	2.4	0.8	87.9	11.3
	75～79 歳	284	68.3	23.6	4.9	0.7	2.5	91.9	5.6
	80～84 歳	120	73.3	23.3	3.3	0.0	0.0	96.6	3.3
	85 歳以上	75	66.7	21.3	5.3	4.0	2.7	88.0	9.3
居住地別	はなみずき	130	64.6	15.4	15.4	3.1	1.5	80.0	18.5
	たちばな	172	65.1	24.4	7.6	2.3	0.6	89.5	9.9
	こうめ	150	64.0	21.3	10.7	2.7	1.3	85.3	13.4
	なりひら	141	63.1	24.8	8.5	0.7	2.8	87.9	9.2
	うめわか	168	71.4	14.9	8.9	3.0	1.8	86.3	11.9
	同愛	168	64.3	25.0	8.3	1.2	1.2	89.3	9.5
	むこうじま	177	65.5	24.3	8.5	1.1	0.6	89.8	9.6
	みどり	149	57.7	26.8	10.1	3.4	2.0	84.5	13.5
家族形態別	ひとり暮らし	246	57.7	25.2	12.2	3.3	1.6	82.9	15.5
	夫婦のみ世帯	537	66.5	22.7	7.4	1.7	1.7	89.2	9.1
	世帯全員が 65 歳以上	30	66.7	13.3	16.7	3.3	0.0	80.0	20.0
	二世帯・三世帯 等の世帯	434	66.6	20.5	10.4	1.6	0.9	87.1	12.0

※『いる』 = 「近くにいる」 + 「近くではないが、いる」

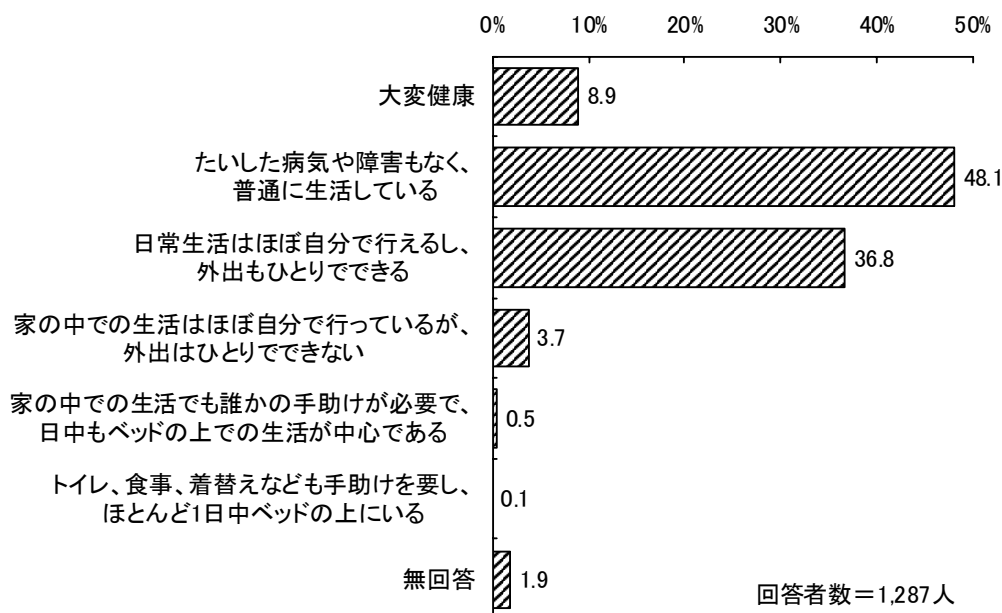
※『いない』 = 「今はいないが、必要と思っている」 + 「必要ではない」

かかりつけ医が『いない』人の割合は、男女別では男性、年齢別では 65～69 歳の年齢層、居住地別でははなみずき、こうめ、うめわか、みどり地区、家族形態別ではひとり暮らし、世帯全員が 65 歳以上及び二世帯・三世帯等の世帯の人において、それぞれ他に比べて高くなっている。

## (2)健康状態(問8)

あなた(あて名のご本人)の健康状態はいかがですか。もっとも近いもの1つに○をしてください。

図表 2-19 健康状態(単数回答)



健康状態をみると、「大変健康」8.9%、「たいした病気や障害もなく、普通に生活している」48.1%であり、これらを合わせた57.0%は、普通に生活している状況となっている。さらに、これらに「日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりできる」36.8%を加えた93.8%が、日常生活がほぼ自立している層である。

一方、「家の中での生活はほぼ自分で行っているが、外出はひとりできない」は3.7%、「家の中での生活でも誰かの手助けが必要で、日中もベッドの上での生活が中心である」は0.5%、「トイレ、食事、着替えなども手助けを要し、ほとんど1日中ベッドの上にいる」は0.1%であり、これらを合わせた何らかの支援が必要と思われる人の割合は、4.3%となっている。

図表 2-20 健康状態

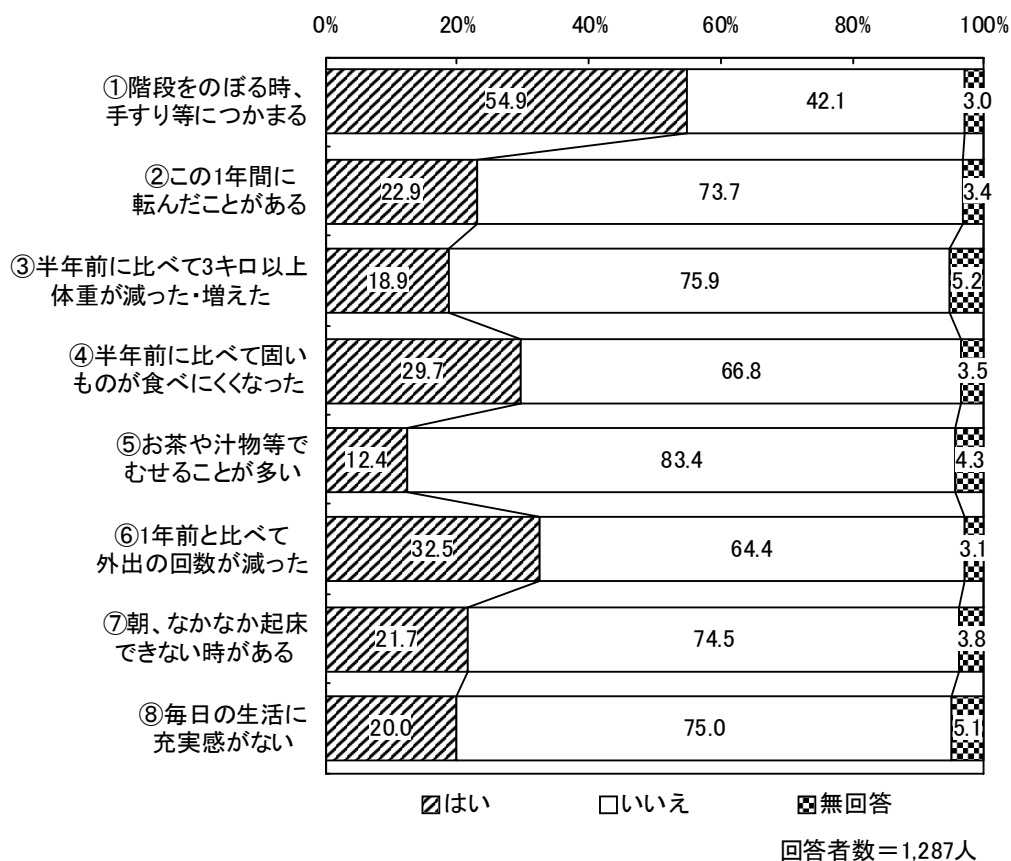
		回答者数(人)	大変健康	たいした病気や障害もなく、普通に生活している	日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える	家の中の生活はほぼ自分で行っているが、外出はひとりで行えない	家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中もベッドの上での生活が中心である	トイレ、食事、着替えなども手助けを要し、ほとんど1日中ベッドの上にいる	無回答
全 体		1,287	8.9	48.1	36.8	3.7	0.5	0.1	1.9
男女別	男性	531	9.0	44.3	39.4	3.8	0.8	0.0	2.8
	女性	726	9.1	51.7	34.3	3.6	0.4	0.1	0.8
年齢別	65～69 歳	388	11.1	57.0	29.9	0.8	0.3	0.0	1.0
	70～74 歳	380	7.9	49.7	37.6	2.6	0.5	0.3	1.3
	75～79 歳	284	8.8	40.8	44.4	3.9	0.4	0.0	1.8
	80～84 歳	120	7.5	46.7	35.0	8.3	0.8	0.0	1.7
	85 歳以上	75	9.3	30.7	40.0	12.0	2.7	0.0	5.3
居住地域別	はなみずき	130	6.2	54.6	31.5	3.1	0.0	0.0	4.6
	たちばな	172	8.1	50.0	37.2	4.1	0.6	0.0	0.0
	こうめ	150	10.7	46.7	32.7	8.0	0.7	0.0	1.3
	なりひら	141	9.2	46.8	36.9	2.8	1.4	0.0	2.8
	うめわか	168	8.3	45.2	38.7	3.6	1.2	0.6	2.4
	同愛	168	6.5	48.8	41.7	2.4	0.0	0.0	0.6
	むこうじま	177	10.7	45.8	40.1	2.8	0.0	0.0	0.6
家族形態別	みどり	149	13.4	49.7	32.2	2.7	0.7	0.0	1.3
	ひとり暮らし	246	8.1	42.3	45.5	1.2	0.4	0.0	2.4
	夫婦のみ世帯	537	7.6	51.6	35.9	2.6	0.7	0.0	1.5
	世帯全員が65歳以上	30	6.7	56.7	20.0	16.7	0.0	0.0	0.0
二世帯・三世帯等の世帯	434	10.8	47.2	34.3	5.8	0.5	0.2	1.2	

年齢別にみると、「たいした病気や障害もなく、普通に生活している」は、65～69歳の5割台、70～84歳の4割台から、85歳以上では約3割に減少する。85歳以上の人では「日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」40.0%がもっとも高く、「家の中の生活はほぼ自分で行っているが、外出はひとりで行えない」12.0%、「家の中の生活でも誰かの手助けが必要で、日中もベッドの上での生活が中心である」2.7%と、これらを合わせた何らかの支援を必要と思われる人の割合が、14.7%と1割を超える。

### (3) 生活機能の状況(問13)

あなた(あて名のご本人)の生活の状況についておたずねします。  
 ①～⑧について、「1. はい」「2. いいえ」のどちらか1つに○をしてください。

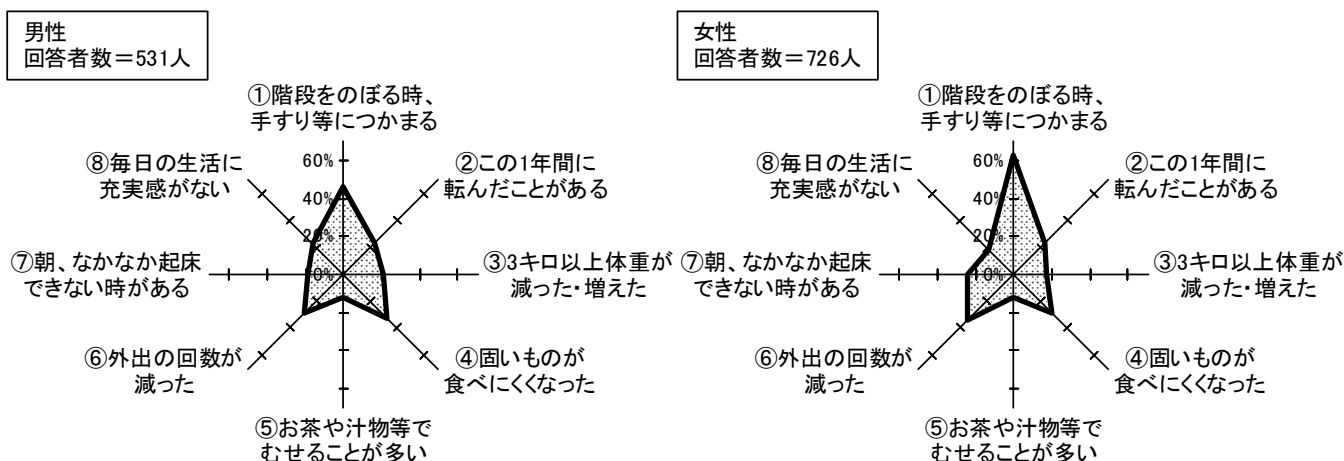
図表 2-21 生活機能の状況(各単数回答)



生活機能の状況について、「はい」の割合をみると、“①階段をのぼる時、手すり等につかまる” 54.9%がもっとも高く、次いで、閉じこもりに関する“⑥1年前と比べて外出の回数が減った” 32.5%、“④半年前に比べて固いものが食べにくくなった” 29.7%、“②この1年間に転んだことがある” 22.9%の順となっている。

また、うつに関する“⑦朝、なかなか起床できない時がある” “⑧毎日の生活に充実感がない” は2割台の人が、栄養に関する“③半年前に比べて3キロ以上体重が減った・増えた” は18.9%が、“⑤お茶や汁物等でむせることが多い” は12.4%が、「はい」と回答している。

図表 2-22 生活機能の状況(男女別)



※「はい」と回答した人の割合

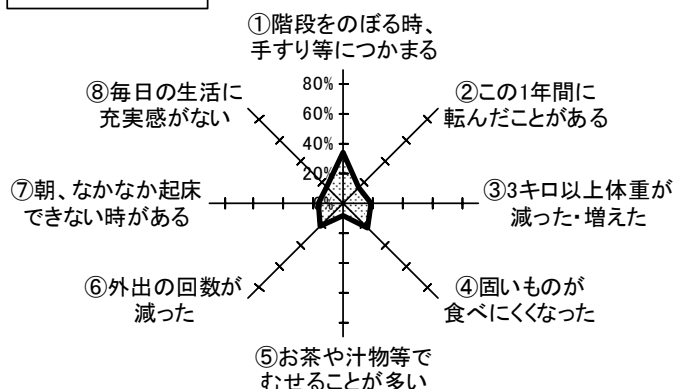
男女別に「はい」と回答した人の割合をみると、“①階段をのぼる時、手すり等につかまる”は、男性4割台に比べて女性は6割台と、女性が男性を大きく上回っている。また、“⑥外出の回数が減った”“⑦朝、なかなか起床できない時がある”割合も、女性の割合が高い項目である。

反対に、“③3キロ以上体重が減った・増えた”“④固いものが食べにくくなった”“⑧毎日の生活に充実感がない”割合は、男性の方が高い。

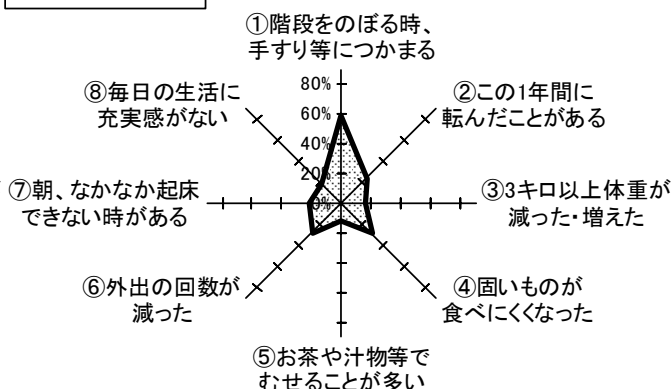
“②この1年間に転んだことがある”“⑤お茶や汁物等でむせることが多い”は男女による大きな差はない。

図表 2-23 生活機能の状況(年齢別)

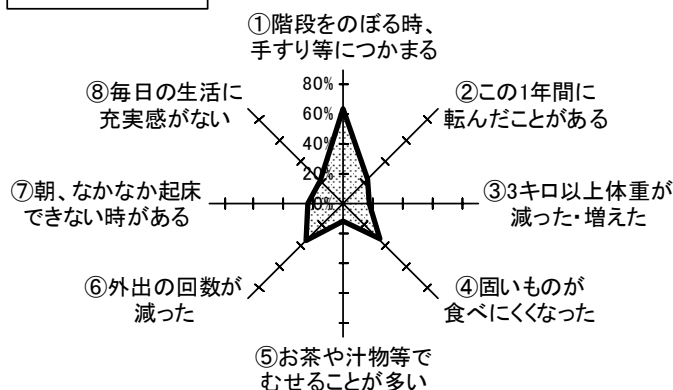
65～69歳  
回答者数=388人



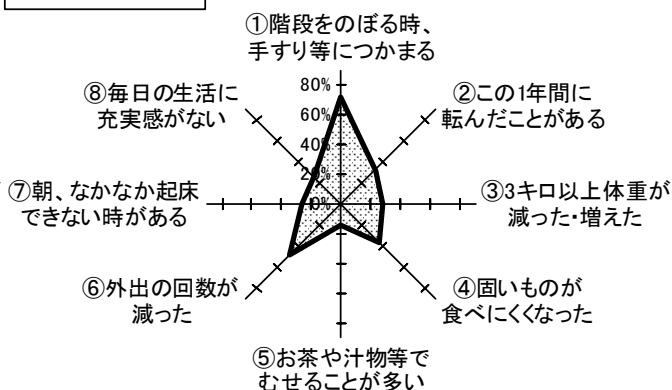
70～74歳  
回答者数=380人



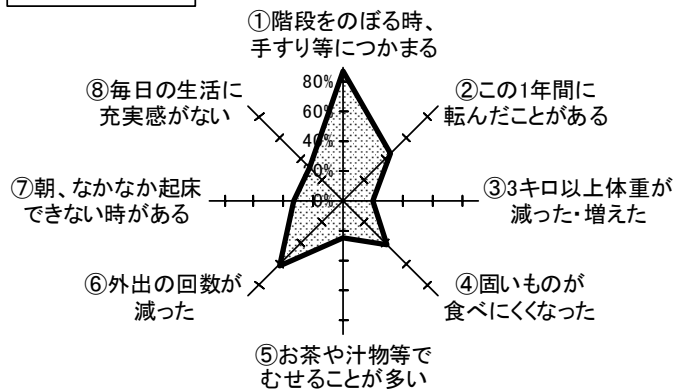
75～79歳  
回答者数=284人



80～84歳  
回答者数=120人



85歳以上  
回答者数=75人



※「はい」と回答した人の割合

年齢別にみると、総じて年齢が高い層ほど割合が高く、網掛け部分の面積が大きくなっている。

特に、85歳以上では、“①階段をのぼる時、手すり等につかまる”は86.7%、“⑥外出の回数が減った”は61.3%となっており、65～69歳と比較すると、①は53.2ポイント、⑥は38.4ポイント増加している。

図表 2-24 生活機能の状況

		回答者数(人)	①階段をのぼる時、手すり等につかまる			②この1年間に転んだことがある			③3キロ以上体重が減った・増えた		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全 体		1,287	54.9	42.1	3.0	22.9	73.7	3.4	18.9	75.9	5.2
男女別	男性	531	45.8	51.6	2.6	22.8	74.4	2.8	20.9	75.1	4.0
	女性	726	61.8	35.1	3.0	22.9	73.6	3.6	17.4	76.7	5.9
年齢別	65～69歳	388	33.5	64.4	2.1	15.2	83.0	1.8	18.6	77.8	3.6
	70～74歳	380	58.7	38.7	2.6	23.9	72.4	3.7	16.1	78.4	5.5
	75～79歳	284	63.0	34.2	2.8	22.5	73.6	3.9	17.3	77.1	5.6
	80～84歳	120	72.5	23.3	4.2	32.5	64.2	3.3	27.5	69.2	3.3
	85歳以上	75	86.7	8.0	5.3	44.0	52.0	4.0	20.0	69.3	10.7

		回答者数(人)	④固いものが食べにくくなった			⑤お茶や汁物等でむせることが多い			⑥外出回数が減った		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全 体		1,287	29.7	66.8	3.5	12.4	83.4	4.3	32.5	64.4	3.1
男女別	男性	531	32.0	64.6	3.4	11.9	84.0	4.1	29.2	67.8	3.0
	女性	726	28.1	68.5	3.4	12.4	83.5	4.1	34.6	62.5	2.9
年齢別	65～69歳	388	23.2	74.7	2.1	8.8	88.9	2.3	22.9	75.5	1.5
	70～74歳	380	28.9	67.6	3.4	12.1	82.9	5.0	28.2	68.2	3.7
	75～79歳	284	33.8	62.3	3.9	12.3	83.8	3.9	34.9	63.0	2.1
	80～84歳	120	35.8	60.0	4.2	14.2	81.7	4.2	49.2	48.3	2.5
	85歳以上	75	41.3	52.0	6.7	25.3	66.7	8.0	61.3	32.0	6.7

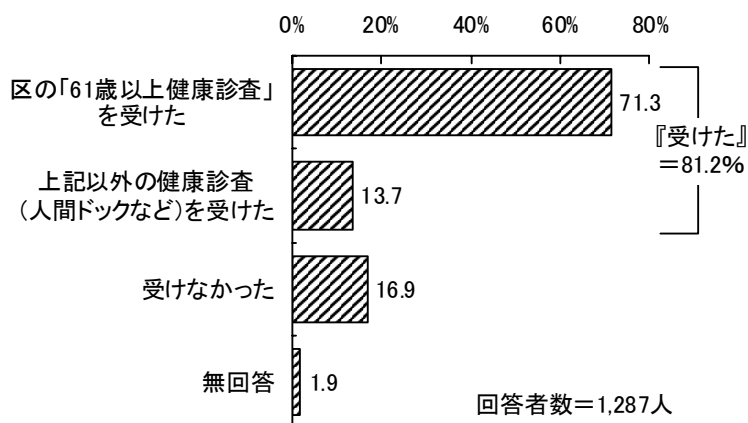
		回答者数(人)	⑦朝、なかなか起床できない時がある			⑧毎日の生活に充実感がない		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全 体		1,287	21.7	74.5	3.8	20.0	75.0	5.1
男女別	男性	531	19.0	77.0	4.0	22.6	73.3	4.1
	女性	726	23.8	72.7	3.4	18.2	76.4	5.4
年齢別	65～69歳	388	17.0	80.7	2.3	15.5	81.4	3.1
	70～74歳	380	21.6	73.7	4.7	18.4	76.6	5.0
	75～79歳	284	23.6	74.3	2.1	22.2	71.8	6.0
	80～84歳	120	26.7	69.2	4.2	25.8	70.8	3.3
	85歳以上	75	33.3	58.7	8.0	32.0	58.7	9.3

## 4. 介護予防に対する意識

### (1) 健康診査受診状況(問9)

あなた(あて名のご本人)は、この1年間に、健康診査を受けましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

図表 2-25 健康診査受診状況(複数回答)



※『受けた』=100% - 「受けなかった」 - 「無回答」

健康診査の受診状況を見ると、「区の『61歳以上健康診査』を受けた」は71.3%、「上記以外の健康診査(人間ドックなど)を受けた」13.7%を含めると、健康診査を『受けた』人の割合は81.2%となっている。



図表 2-26 健康診査受診状況

		回答者数(人)	区の「61歳以上健康診査」を受けた	上記以外の健康診査(人間ドックなど)を受けた	受けなかった	無回答	『受けた』
全 体		1,287	71.3	13.7	16.9	1.9	81.2
男女別	男性	531	65.9	18.1	18.5	2.4	79.1
	女性	726	76.0	10.6	15.6	1.0	83.4
年齢別	65～69 歳	388	61.9	16.8	22.4	1.0	76.6
	70～74 歳	380	77.6	11.6	13.9	1.6	84.5
	75～79 歳	284	77.1	14.1	12.0	1.8	86.2
	80～84 歳	120	77.5	10.0	15.0	0.8	84.2
	85 歳以上	75	69.3	9.3	21.3	4.0	74.7
居住地域別	はなみずき	130	73.8	10.0	16.2	3.8	80.0
	たちばな	172	78.5	12.2	14.0	0.0	86.0
	こうめ	150	71.3	16.0	17.3	0.7	82.0
	なりひら	141	65.2	18.4	16.3	3.5	80.2
	うめわか	168	78.0	8.9	13.7	2.4	83.9
	同愛	168	67.3	13.7	21.4	0.6	78.0
	むこうじま	177	73.4	11.9	15.8	1.1	83.1
	みどり	149	65.1	18.8	20.1	2.0	77.9
家族形態別	ひとり暮らし	246	71.1	12.2	17.5	2.4	80.1
	夫婦のみ世帯	537	72.1	13.0	16.4	1.5	82.1
	世帯全員が65歳以上	30	66.7	13.3	23.3	0.0	76.7
	二世帯・三世帯等の世帯	434	72.4	15.7	16.1	1.4	82.5

※『受けた』=100%－「受けなかった」－「無回答」

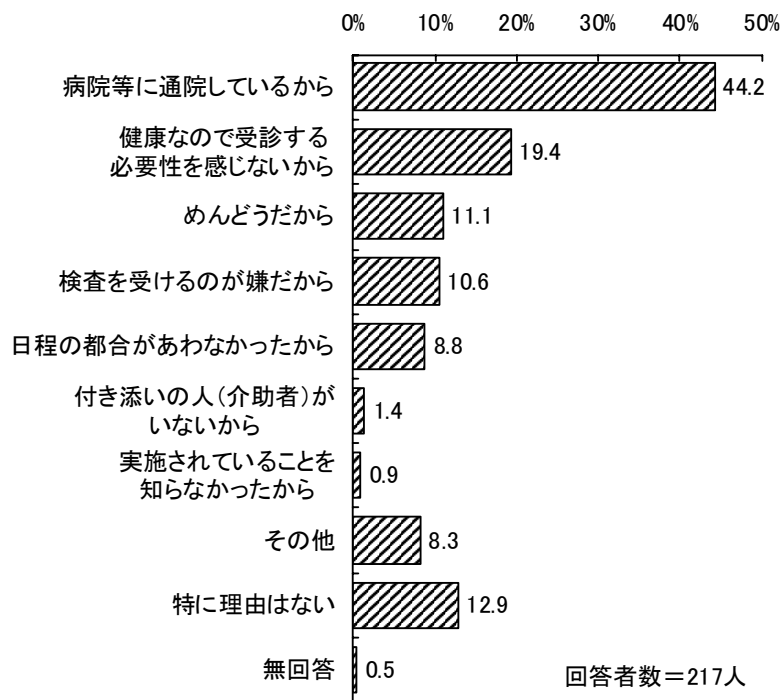
健康診査を「受けなかった」割合に注目してみると、男女別では男性、年齢別では65～69歳及び85歳以上の年齢層、居住地域別ではこうめ、同愛、みどり地区居住者、家族形態別ではひとり暮らし及び世帯全員が65歳以上の人において、それぞれ他に比べて高くなっている。

## (2)健康診査を受診しなかった理由(問9付問)

「3. 受けなかった」方におたずねします。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図表 2-27 健康診査を受診しなかった理由(複数回答)

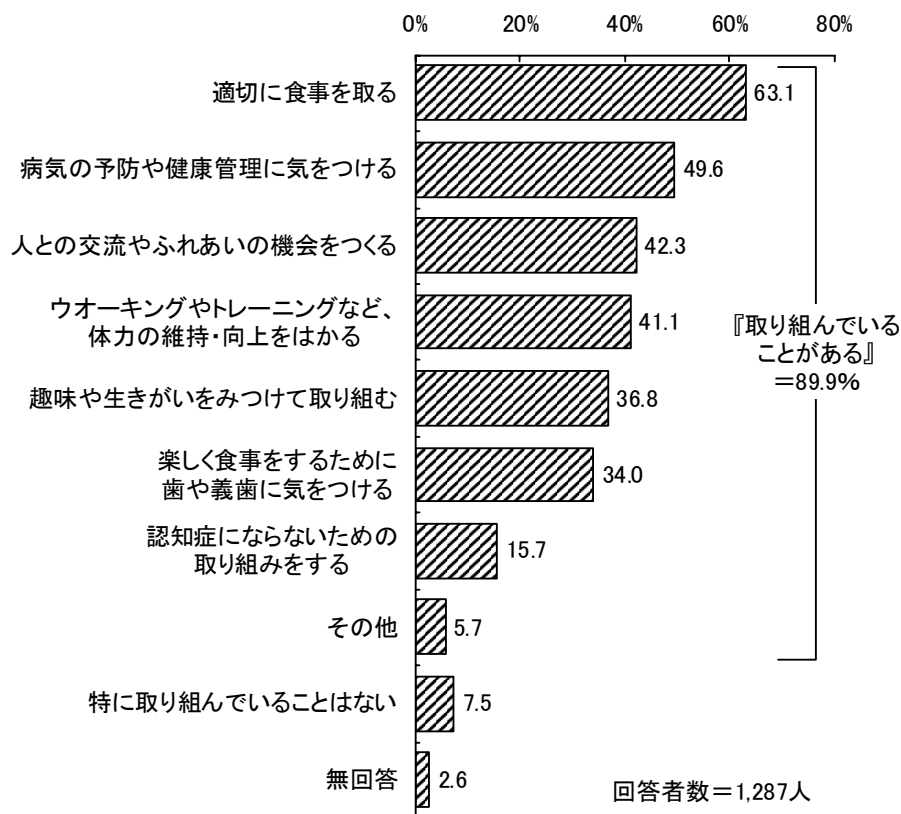


健康診査を「受けなかった」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「病院等に通院しているから」44.2%がもっとも割合の高い理由であり、次いで、「健康なので受診する必要性を感じないから」19.4%、「めんどうだから」11.1%、「検査を受けるのが嫌だから」10.6%などとなっている。

### (3) 介護予防のために取り組んでいること(問10)

あなた(あて名のご本人)は、健康を保ち、介護が必要にならないために、実際に取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-28 介護予防のために取り組んでいること(複数回答)



※『取り組んでいることがある』 = 100% - 「特に取り組んでいることはない」 - 「無回答」

介護予防のために取り組んでいることをみると、「特に取り組んでいることはない」は7.5%であり、約9割が『取り組んでいることがある』と回答している。

具体的に取り組んでいる内容は、「適切に食事を取る」が63.1%と最も高く、以下、「病気の予防や健康管理に気をつける」49.6%、「人との交流やふれあいの機会をつくる」42.3%、「ウォーキングやトレーニングなど、体力の維持・向上をはかる」41.1%の順で続いている。

図表 2-29 介護予防のために取り組んでいること

		回答者数(人)	適切に食事を取る	病気の予防や健康管理に気をつける	人との交流やふれあいの機会をつくる	ウォーキングやトレーニングなど、体力の維持・向上をはかる	趣味や生きがいをみつけて取り組む	楽しく食事をするために歯や義歯に気をつける	認知症にならないための取り組みをする	その他	特に取り組んでいることはない	無回答	『取り組んでいることがある』
全 体		1,287	63.1	49.6	42.3	41.1	36.8	34.0	15.7	5.7	7.5	2.6	89.9
男女別	男性	531	62.0	44.8	32.4	44.6	33.0	32.4	12.8	3.8	9.6	3.4	87.0
	女性	726	64.7	53.3	49.7	39.0	40.1	35.8	17.8	7.0	6.2	1.7	92.1
年齢別	65～69 歳	388	61.9	50.3	44.6	48.2	38.7	32.2	14.2	7.0	10.1	1.8	88.1
	70～74 歳	380	63.2	49.2	42.6	42.6	37.6	35.0	12.6	4.2	6.3	2.1	91.6
	75～79 歳	284	63.4	51.4	43.3	43.3	39.8	37.0	19.7	6.0	5.3	2.8	91.9
	80～84 歳	120	70.8	47.5	41.7	30.8	36.7	40.0	20.0	5.0	6.7	1.7	91.6
	85 歳以上	75	61.3	48.0	30.7	14.7	21.3	26.7	17.3	4.0	10.7	6.7	82.6
居住地別	はなみずき	130	63.8	55.4	36.9	37.7	35.4	40.0	21.5	3.1	6.2	5.4	88.4
	たちばな	172	62.2	47.7	40.1	39.0	32.6	30.8	16.9	5.8	6.4	1.7	91.9
	こうめ	150	63.3	47.3	35.3	43.3	33.3	34.7	15.3	5.3	8.0	1.3	90.7
	なりひら	141	65.2	53.2	43.3	41.8	37.6	34.8	12.1	2.8	5.0	4.3	90.7
	うめわか	168	63.1	48.8	48.2	42.9	37.5	35.1	13.1	8.3	7.7	2.4	89.9
	同愛	168	67.3	48.8	47.0	45.2	39.3	35.7	14.3	5.4	7.7	1.8	90.5
	むこうじま	177	58.2	46.9	43.5	37.3	36.7	31.1	16.4	6.8	11.3	1.1	87.6
	みどり	149	66.4	51.7	45.0	45.6	47.0	34.9	18.1	8.1	7.4	2.7	89.9
家族形態別	ひとり暮らし	246	57.7	49.2	41.1	38.2	32.9	27.2	16.3	8.9	8.5	4.1	87.4
	夫婦のみ世帯	537	65.0	50.3	40.0	45.3	38.0	37.2	16.4	5.0	6.7	2.2	91.1
	世帯全員が 65 歳以上	30	70.0	40.0	56.7	23.3	23.3	26.7	16.7	3.3	6.7	0.0	93.3
	二世帯・三世帯 等の世帯	434	65.7	51.2	45.6	39.4	39.6	35.7	14.7	4.8	8.3	1.8	89.9

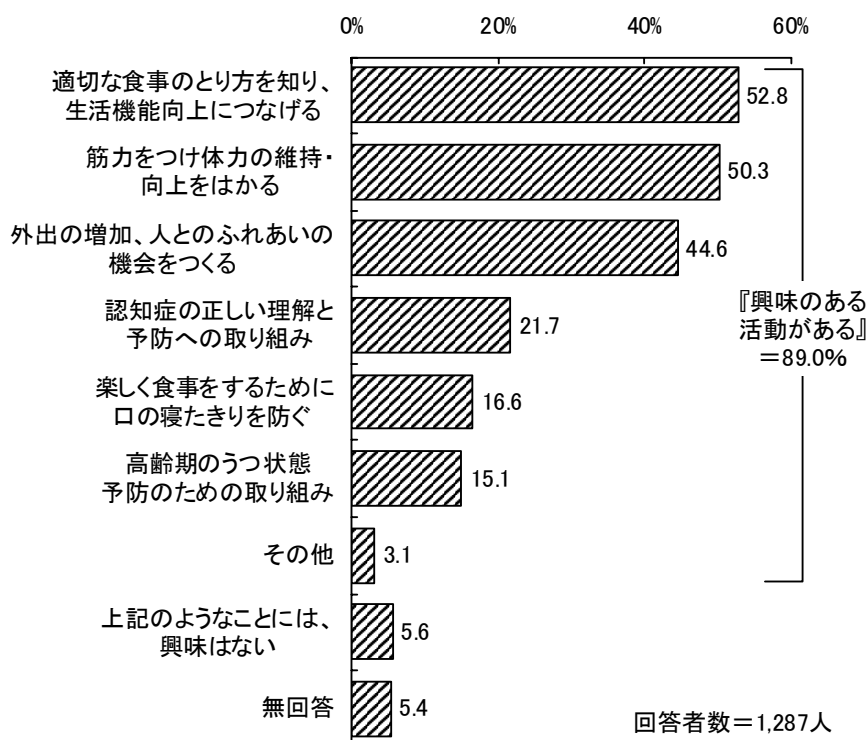
※『取り組んでいることがある』=100%－「特に取り組んでいることはない」－「無回答」

『取り組んでいることがある』人の割合は、男女別では女性、年齢別では70～84歳の年齢層、家族形態別では夫婦のみ世帯及び世帯全員が65歳以上の世帯の人において、それぞれ他に比べて高い。

#### (4) 興味のある介護予防活動(問11)

あなた(あて名のご本人)は、これから取り組みたい介護予防として、どのような活動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-30 興味のある介護予防活動(複数回答)



※『興味のある活動がある』 = 100% - 「上記のようなことには、興味はない」 - 「無回答」

興味のある介護予防活動をみると、「上記のようなことには、興味はない」は5.6%であり、89.0%が『興味のある活動がある』と回答している。

具体的には、「適切な食事のとり方を知り、生活機能向上につなげる」52.8%、「筋力をつけ体力の維持・向上をはかる」50.3%と、適切な食事のとり方に関する知識を得ること、筋力をつけることが、半数以上の人からあげられている。

次いで、「外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる」44.6%、「認知症の正しい理解と予防への取り組み」21.7%の順で続いている。

図表 2-31 興味のある介護予防活動

		回答者数(人)	適切な食事のとり方を知り、生活機能向上につなげる	筋力をつけ体力の維持・向上をはかる	外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる	認知症の正しい理解と予防への取り組み	寝たきりを防ぐ	楽しく食事をするために口の取り組み	高齢期のうつ状態予防のための取り組み	その他	上記のようなことには、興味はない	無回答	『興味のある活動がある』
全体		1,287	52.8	50.3	44.6	21.7	16.6	15.1	3.1	5.6	5.4	89.0	
男女別	男性	531	56.7	51.6	40.7	16.0	16.0	12.8	2.8	8.7	4.1	87.2	
	女性	726	50.6	50.0	47.5	26.2	17.2	16.9	3.2	3.6	5.8	90.6	
年齢別	65～69歳	388	54.1	58.8	47.2	24.7	14.7	14.4	3.4	5.4	3.1	91.5	
	70～74歳	380	52.6	51.6	46.8	19.2	15.8	15.5	2.4	5.3	5.5	89.2	
	75～79歳	284	56.0	49.3	47.9	25.4	18.7	16.2	3.2	3.5	6.0	90.5	
	80～84歳	120	54.2	37.5	39.2	17.5	20.0	18.3	1.7	5.8	5.8	88.4	
	85歳以上	75	36.0	32.0	22.7	13.3	17.3	9.3	5.3	16.0	8.0	76.0	
居住地域別	はなみずき	130	50.0	45.4	42.3	19.2	18.5	16.2	2.3	6.2	9.2	84.6	
	たちばな	172	56.4	45.9	43.6	16.9	18.0	8.1	4.1	5.2	6.4	88.4	
	こうめ	150	52.0	46.0	50.0	22.0	19.3	16.0	2.7	6.0	2.0	92.0	
	なりひら	141	52.5	51.8	45.4	19.1	17.0	19.1	2.1	5.0	4.3	90.7	
	うめわか	168	53.6	56.5	44.6	28.0	18.5	16.1	4.2	4.2	4.8	91.0	
	同愛	168	51.8	55.4	46.4	20.8	14.3	13.1	1.8	6.0	6.5	87.5	
	むこうじま	177	53.1	46.3	43.5	22.6	15.8	16.4	2.8	9.0	3.4	87.6	
	みどり	149	55.7	57.7	43.0	26.2	13.4	18.1	4.0	4.0	4.0	92.0	
家族形態別	ひとり暮らし	246	43.9	44.7	45.5	22.0	16.7	15.9	4.9	4.9	7.7	87.4	
	夫婦のみ世帯	537	58.1	53.6	46.4	21.4	16.6	14.9	1.7	5.2	4.8	90.0	
	世帯全員が65歳以上	30	40.0	30.0	50.0	23.3	13.3	13.3	0.0	3.3	0.0	96.7	
	二世帯・三世帯等の世帯	434	53.2	50.9	42.2	22.1	17.3	15.4	3.9	6.9	4.1	89.0	

※『興味のある活動がある』=100%－「上記のようなことには、興味はない」－「無回答」

男女別にみると、『興味のある活動がある』割合は、男性 87.2%に対して、女性 90.6%と高い。

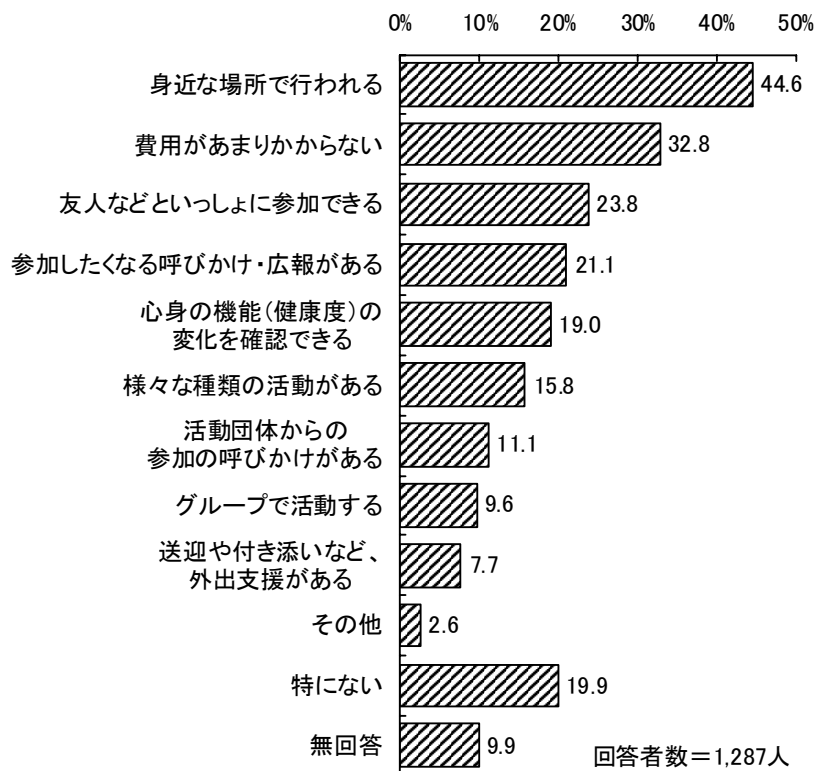
年齢別にみると、『興味のある活動がある』割合は、65～69歳の年齢層がもっとも高い。興味のある活動の第1位は、65～69歳では「筋力をつけ体力の維持・向上をはかる」、70歳以上では「適切な食事のとり方を知り、生活機能向上につなげる」となっている。

家族形態別にみた興味のある活動の第1位は、ひとり暮らし及び世帯全員が65歳以上の人は「外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる」、夫婦のみ世帯及び二世帯・三世帯等の世帯の人は「適切な食事のとり方を知り、生活機能向上につなげる」となっている。

## (5) 介護予防活動への取り組み条件(問12)

どのような条件があれば、介護予防のための取り組みに参加しやすい・参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-32 介護予防活動への取り組み条件(複数回答)



介護予防活動への取り組み条件は、「身近な場所で行われる」44.6%、「費用があまりかからない」32.8%、「友人などといっしょに参加できる」23.8%の順となっており、活動場所、経済的負担、参加形態が、取り組み条件の上位3位にあげられている。

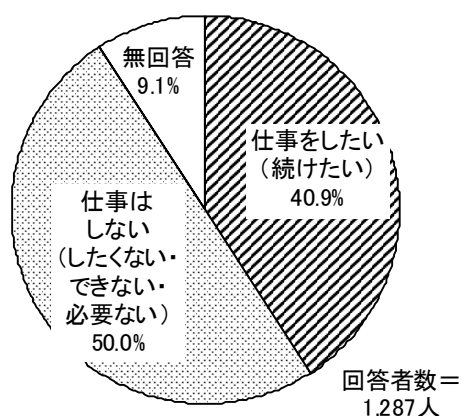
次いで、「参加したくなる呼びかけ・広報がある」21.1%、「心身の機能(健康度)の変化を確認できる」19.0%が続いている。

## 5. 就労や地域活動等の取り組み意向

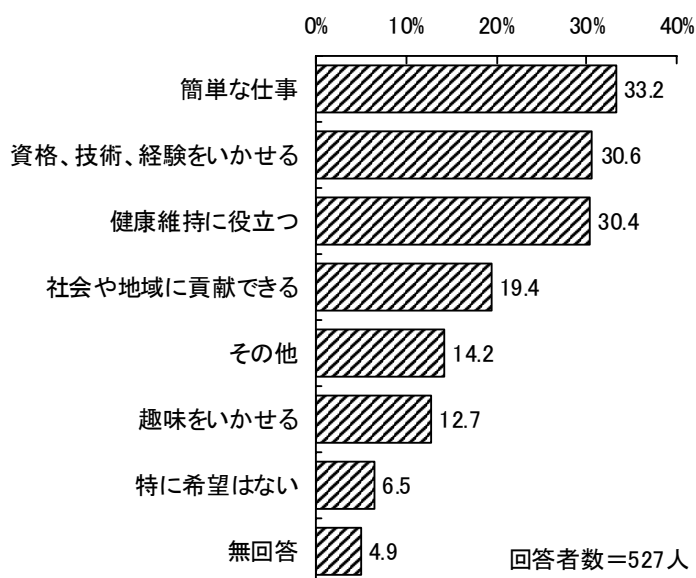
### (1) 就労意向(問16・問16付問)

あなた(あて名のご本人)は今後、収入のある仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに○)  
 「1. 仕事をしたい(続けたい)」に○をした方にうかがいます。主にどのような仕事をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-33 就労意向(単数回答)



図表 2-34 希望する仕事の内容(複数回答)



今後の就労意向は、「仕事をしたい(続けたい)」は40.9%と約4割であり、半数は「仕事はしない(したくない・できない・必要ない)」と回答している。

「仕事をしたい(続けたい)」人が希望する仕事の内容は、「簡単な仕事」33.2%、「資格、技術、経験をいかせる」30.6%、「健康維持に役立つ」30.4%が、上位3位となっている。



図表 2-35 就労意向

		回答者数(人)	仕事をしたい(続けたい)	仕事はしない(したくない・できない・必要ない)	無回答
全体		1,287	40.9	50.0	9.1
男女別	男性	531	49.7	42.2	8.1
	女性	726	34.7	55.5	9.8
年齢別	65～69歳	388	59.5	34.5	5.9
	70～74歳	380	43.4	49.2	7.4
	75～79歳	284	32.0	56.3	11.6
	80～84歳	120	19.2	69.2	11.7
	85歳以上	75	8.0	76.0	16.0
居住地域別	はなみずき	130	35.4	53.1	11.5
	たちばな	172	43.0	48.3	8.7
	こうめ	150	39.3	51.3	9.3
	なりひら	141	31.9	56.0	12.1
	うめわか	168	44.0	48.2	7.7
	同愛	168	41.7	50.0	8.3
	むこうじま	177	41.8	49.7	8.5
	みどり	149	49.0	45.0	6.0
家族形態別	ひとり暮らし	246	36.2	51.2	12.6
	夫婦のみ世帯	537	41.9	49.2	8.9
	世帯全員が65歳以上	30	33.3	66.7	0.0
	二世帯・三世帯等の世帯	434	42.4	50.2	7.4

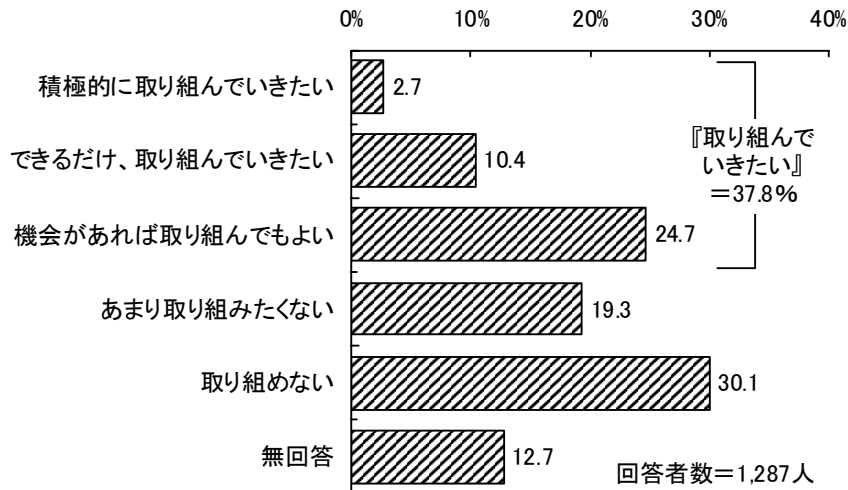
就労意向を男女別にみると、「仕事をしたい(続けたい)」人の割合は、男性は49.7%と約半数、女性は34.7%となっている。

年齢別にみると、年齢層が低いほど就労意向が高く、65～69歳の約6割、70～74歳の4割台が「仕事をしたい(続けたい)」と回答している。

(2) 地域活動やボランティア活動の取り組み意向(問17)

あなた(あて名のご本人)は、今後、地域のための活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)

図表 2-36 地域活動やボランティア活動の取り組み意向(単数回答)



※『取り組んでいきたい』=「積極的に取り組んでいきたい」+「できるだけ、取り組んでいきたい」+「機会があれば取り組んでもよい」

地域活動やボランティア活動の取り組み意向は、「取り組めない」が 30.1%を占め、もっとも高い割合を占めている。

次いで、「機会があれば取り組んでもよい」24.7%であり、これに「できるだけ、取り組んでいきたい」10.4%、「積極的に取り組んでいきたい」2.7%を加えた『取り組んでいきたい』との意向を示した人の割合は 37.8%、4割弱となっている。

図表 2-37 地域活動やボランティア活動の取り組み意向

		回答者数(人)	積極的に取り組んで いきたい	できるだけ、取り組 んでいきたい	機会があれば取り 組んでもよい	あ ま り 取 り 組 み た く な い	取 り 組 め な い	無 回 答	『取 り 組 ん で い き た い』
全 体		1,287	2.7	10.4	24.7	19.3	30.1	12.7	37.8
男 女 別	男性	531	4.3	13.0	26.2	21.8	23.4	11.3	43.5
	女性	726	1.5	8.8	23.7	17.6	35.3	13.1	34.0
年 齢 別	65～69 歳	388	3.9	10.6	35.1	20.4	22.9	7.2	49.6
	70～74 歳	380	2.4	11.1	26.6	21.3	27.4	11.3	40.1
	75～79 歳	284	2.1	11.6	19.7	19.7	29.9	16.9	33.4
	80～84 歳	120	3.3	8.3	9.2	19.2	40.0	20.0	20.8
	85 歳以上	75	0.0	6.7	10.7	4.0	62.7	16.0	17.4
居 住 地 域 別	はなみずき	130	2.3	10.8	23.1	18.5	31.5	13.8	36.2
	たちばな	172	4.7	10.5	22.7	21.5	28.5	12.2	37.9
	こうめ	150	2.0	9.3	34.0	18.7	28.7	7.3	45.3
	なりひら	141	4.3	9.2	23.4	20.6	30.5	12.1	36.9
	うめわか	168	3.6	10.7	27.4	16.1	32.1	10.1	41.7
	同愛	168	1.2	11.9	22.0	23.2	26.2	15.5	35.1
	むこうじま	177	2.3	7.3	24.3	16.4	38.4	11.3	33.9
	みどり	149	1.3	14.8	24.2	20.1	24.2	15.4	40.3
家 族 形 態 別	ひとり暮らし	246	2.4	10.2	22.8	19.5	29.3	15.9	35.4
	夫婦のみ世帯	537	3.2	11.4	26.8	19.6	27.9	11.2	41.4
	世帯全員が 65 歳以上	30	0.0	6.7	26.7	20.0	43.3	3.3	33.4
	二世帯・三世帯 等の世帯	434	2.5	9.7	23.7	19.6	32.9	11.5	35.9

※『取り組んでいきたい』＝「積極的に取り組んでいきたい」＋「できるだけ、取り組んでいきたい」＋「機会があれば取り組んでもよい」

男女別にみると、『取り組んでいきたい』との意向を示した人の割合は、男性が 43.5%と、女性の 34.0%に比べて高くなっている。

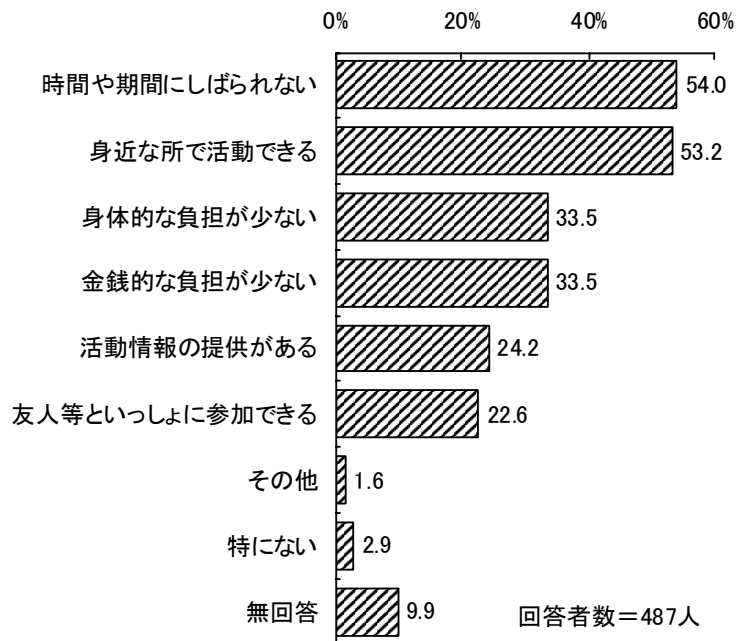
年齢別にみると、年齢層が低いほど取り組み意向が高く、65～69 歳の約 5 割、70～74 歳では約 4 割が『取り組んでいきたい』と回答している。

居住地域別にみると、こうめ、うめわか、みどり地区居住者において、『取り組んでいきたい』が 4 割を超え、他に比べて高い割合となっている。

### (3) 地域活動やボランティア活動への取り組み条件(問17付問)

取り組んでいきたい方(1~3に○)にうかがいます。どのような条件があれば、参加・活動しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-38 地域活動やボランティア活動への取り組み条件(複数回答)



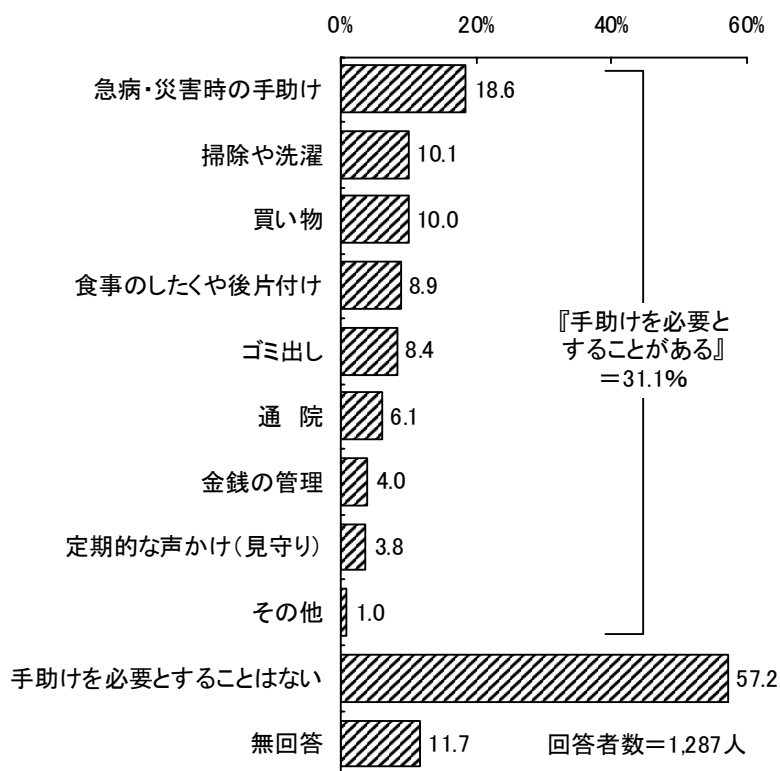
地域活動やボランティア活動に『取り組んでいきたい』と回答した人に、取り組み条件をたずねたところ、「時間や期間にしばられない」54.0%、「身近な所で活動できる」53.2%が上位2位であり、ともに半数以上からあげられた意見となっている。次いで、「身体的な負担が少ない」「金銭的な負担が少ない」が3割台、「活動情報の提供がある」「友人等といっしょに参加できる」が2割台からあげられている。

## 6. 日常生活における手助けの必要性

### (1) 手助けを必要とすること(問14)

あなた(あて名のご本人)は現在、日常生活の中で、次のような手助けを必要とすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-39 手助けを必要とすること(複数回答)



※『手助けを必要とすることがある』 = 100% - 「手助けを必要とすることはない」 - 「無回答」

日常生活の中で「手助けを必要とすることはない」は 57.2%であり、3割強が『手助けを必要とすることがある』と回答している。

手助けを必要とする内容としては、「急病・災害時の手助け」がもっとも高い 18.6%、次いで、「掃除や洗濯」10.1%、「買い物」10.0%、「食事のしたくや後片付け」8.9%と、家事に関する内容が続いている。

図表 2-40 手助けを必要とすること

		回答者数(人)	急病・災害時の手助け	掃除や洗濯	買い物	食事のしたくや後片付け	ゴミ出し	通院	金銭の管理	定期的な声かけ(見守り)	その他	手助けを必要とすることはない	無回答	『手助けを必要とすることがある』
全体		1,287	18.6	10.1	10.0	8.9	8.4	6.1	4.0	3.8	1.0	57.2	11.7	31.1
男女別	男性	531	13.0	11.7	9.2	10.4	7.3	6.0	4.1	2.8	1.3	60.3	11.5	28.2
	女性	726	23.0	8.8	10.7	7.4	9.1	6.2	4.0	4.4	0.8	55.4	11.4	33.2
年齢別	65～69歳	388	13.9	5.4	3.9	4.6	3.4	1.8	1.8	1.8	0.8	69.3	8.8	21.9
	70～74歳	380	16.1	8.4	8.7	7.1	6.8	5.0	3.4	3.2	1.3	64.5	7.9	27.6
	75～79歳	284	20.8	11.3	14.1	9.2	11.3	6.7	4.2	4.9	0.7	46.5	19.4	34.1
	80～84歳	120	27.5	15.0	13.3	15.0	12.5	11.7	8.3	6.7	1.7	44.2	11.7	44.1
	85歳以上	75	32.0	24.0	24.0	25.3	20.0	18.7	10.7	6.7	1.3	29.3	12.0	58.7
居住地域別	はなみずき	130	25.4	11.5	13.8	10.0	11.5	10.0	4.6	3.8	2.3	49.2	13.1	37.7
	たちばな	172	19.2	7.6	7.6	6.4	5.8	5.2	2.9	4.7	1.7	55.2	12.8	32.0
	こうめ	150	18.0	12.7	10.7	10.7	10.0	6.0	3.3	2.7	0.0	54.7	12.0	33.3
	なりひら	141	21.3	12.1	10.6	11.3	8.5	6.4	7.1	4.3	1.4	58.9	10.6	30.5
	うめわか	168	16.7	8.3	10.1	7.7	10.1	8.9	4.2	4.2	0.6	61.9	8.9	29.2
	同愛	168	19.6	11.9	11.9	11.9	9.5	6.0	2.4	4.2	0.0	52.4	16.7	30.9
	むこうじま	177	14.7	8.5	6.8	7.3	6.2	2.3	4.0	3.4	1.1	66.1	9.0	24.9
家族形態別	みどり	149	16.1	7.4	8.7	4.7	5.4	4.7	4.0	2.7	1.3	59.7	10.1	30.2
	ひとり暮らし	246	24.8	6.9	6.5	5.7	6.1	3.7	2.4	6.1	0.4	51.6	11.8	36.6
	夫婦のみ世帯	537	15.8	10.4	9.7	9.5	7.4	5.8	4.1	2.2	1.3	57.7	13.2	29.1
	世帯全員が65歳以上	30	30.0	20.0	16.7	13.3	13.3	16.7	13.3	3.3	0.0	53.3	3.3	43.4
二世帯・三世帯等の世帯	434	18.4	10.4	11.8	9.2	10.1	7.1	4.1	4.4	1.2	60.8	9.4	29.8	

※『手助けを必要とすることがある』=100%－「手助けを必要とすることはない」－「無回答」

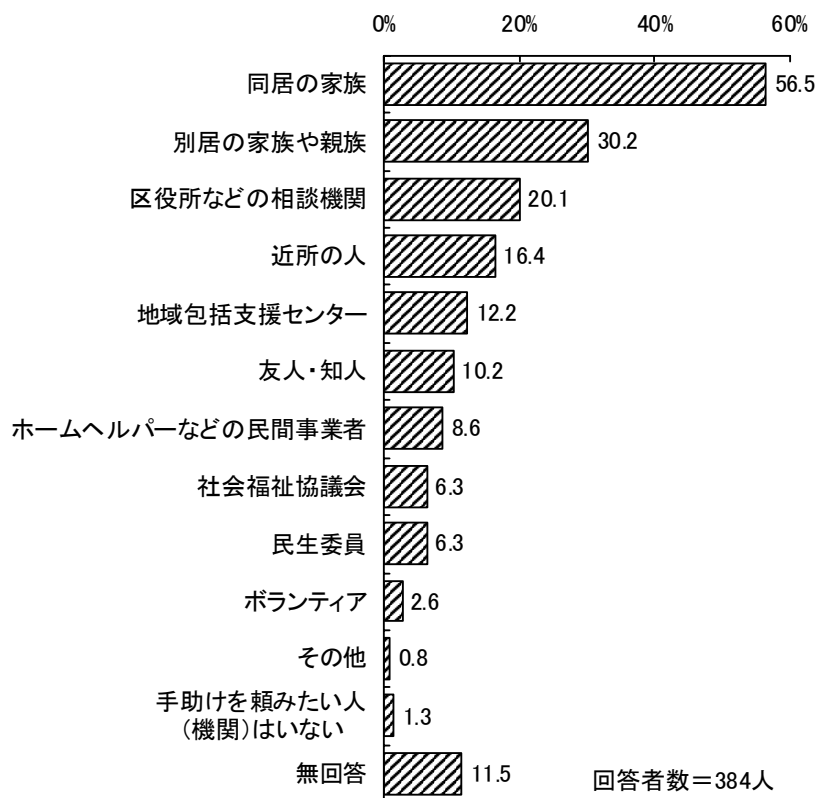
年齢別にみると、『手助けを必要とすることがある』は、65～69歳の2割強から85歳以上では6割弱と、年齢層が高くなるほど割合も高くなっている。85歳以上の人では、3割台が「急病・災害時の手助け」、2割台が「食事のしたくや後片付け」「掃除や洗濯」「買い物」「ゴミ出し」の手助けが必要であると回答している。

家族形態別にみると、ひとり暮らし及び世帯全員が65歳以上の人において、他に比べて『手助けを必要とすることがある』割合が高い。ひとり暮らしの人では、24.8%と約4人に1人が「急病・災害時の手助け」をあげている。また、6.1%が「定期的な声かけ(見守り)」を希望しており、他に比べて高い割合となっている。

## (2)手助けを頼みたい相手(問14付問)

手助けを必要とすることがある方(1～9に○)にうかがいます。手助けを頼みたいのはだれ(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-41 手助けを頼みたい相手(複数回答)



『手助けを必要とすることがある』人に、手助けを頼みたい相手をたずねたところ、「同居の家族」56.5%がもっとも高く、「別居の家族や親族」30.2%と、家族や親族が上位にあげられている。次いで、「区役所などの相談機関」が20.1%、「近所の人」16.4%、「地域包括支援センター」12.2%の順となっている。

図表 2-42 手助けを頼みたい相手

		回答者数(人)	同居の家族	別居の家族や親族	区役所などの相談機関	近所の人	地域包括支援センター	友人・知人	民間事業者 ホームヘルパーなどの	社会福祉協議会	民生委員	ボランティア	その他	手助けを頼みたい人 (機関)はない
全体		384	56.5	30.2	20.1	16.4	12.2	10.2	8.6	6.3	6.3	2.6	0.8	1.3
男女別	男性	143	62.2	21.7	21.0	13.3	11.2	7.0	9.1	6.3	3.5	2.8	1.4	1.4
	女性	233	52.4	36.1	19.7	18.9	12.9	12.4	8.6	6.4	7.7	2.6	0.4	1.3
年齢別	65～69歳	81	55.6	33.3	22.2	16.0	13.6	22.2	9.9	9.9	7.4	2.5	1.2	0.0
	70～74歳	101	56.4	21.8	23.8	19.8	10.9	5.9	8.9	5.9	5.9	2.0	2.0	2.0
	75～79歳	91	57.1	34.1	20.9	13.2	15.4	11.0	9.9	9.9	8.8	5.5	0.0	2.2
	80～84歳	53	60.4	34.0	17.0	13.2	13.2	5.7	7.5	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9
	85歳以上	43	55.8	32.6	11.6	23.3	7.0	4.7	4.7	0.0	4.7	2.3	0.0	0.0
居住地域別	はなみずき	48	54.2	25.0	20.8	16.7	14.6	6.3	6.3	6.3	2.1	2.1	0.0	2.1
	たちばな	51	58.8	23.5	21.6	21.6	15.7	13.7	9.8	5.9	9.8	3.9	0.0	2.0
	こうめ	47	66.0	27.7	19.1	12.8	8.5	10.6	4.3	6.4	4.3	2.1	2.1	2.1
	なりひら	43	62.8	32.6	16.3	18.6	16.3	9.3	9.3	4.7	4.7	7.0	0.0	0.0
	うめわか	46	54.3	37.0	15.2	13.0	6.5	13.0	8.7	4.3	6.5	0.0	0.0	0.0
	同愛	52	51.9	42.3	25.0	17.3	11.5	9.6	15.4	7.7	9.6	1.9	0.0	1.9
	むこうじま	43	51.2	27.9	18.6	18.6	9.3	7.0	7.0	7.0	9.3	4.7	2.3	2.3
	みどり	42	52.4	26.2	23.8	14.3	16.7	9.5	9.5	9.5	2.4	0.0	2.4	0.0
家族形態別	ひとり暮らし	84	0.0	40.5	27.4	16.7	15.5	15.5	7.1	11.9	4.8	4.8	1.2	2.4
	夫婦のみ世帯	151	62.3	34.4	19.9	19.2	10.6	9.9	13.2	6.0	9.3	1.3	0.7	0.7
	世帯全員が 65歳以上	13	69.2	7.7	15.4	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	二世帯・三世帯 等の世帯	126	84.9	22.2	16.7	14.3	11.9	6.3	5.6	4.0	3.2	3.2	0.8	1.6

※「無回答」は、掲載を省略

家族形態別にみると、ひとり暮らしの人が手助けを頼みたい相手は、「別居の家族や親族」40.5%に次いで「区役所などの相談機関」27.4%であり、これに「近所の人」が16.7%、「友人・知人」「地域包括支援センター」が各15.5%の順で続いている。

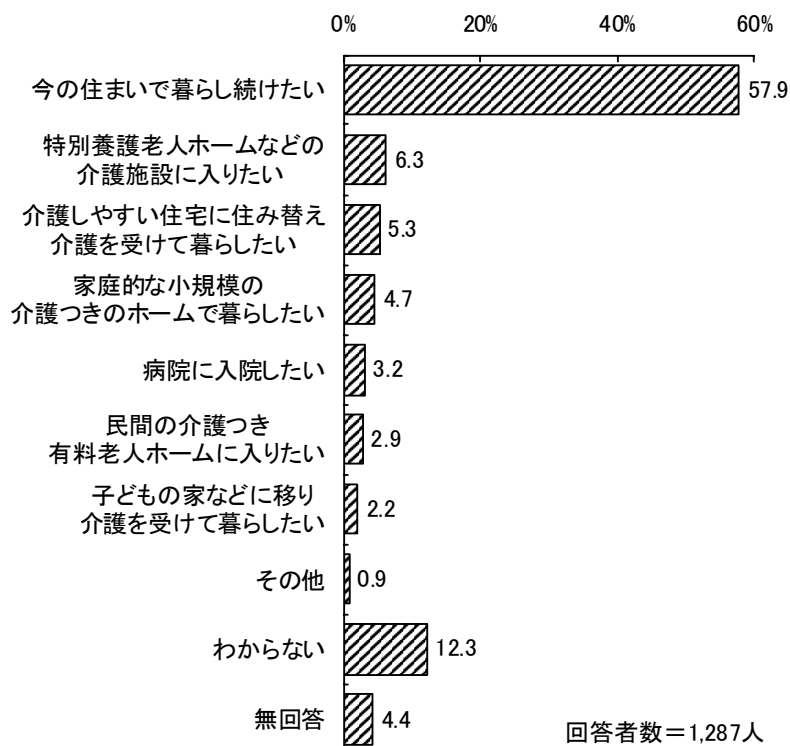


## 7. 将来の生活に対する考え方

### (1) 介護が必要になった場合に希望する暮らし方(問18)

あなた(あて名のご本人)は、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。  
(もっとも近い意見1つに○)

図表 2-43 介護が必要になった場合に希望する暮らし方(単数回答)



介護が必要になった場合に希望する暮らし方の第1位は、「今の住まいで暮らし続けたい」であり、57.9%と6割近くを占める。次いで、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」6.3%、「介護しやすい住宅に住み替え介護を受けて暮らしたい」5.3%、「家庭的な小規模の介護つきのホームで暮らしたい」4.7%の順であり、施設入所に対する希望が、介護しやすい住宅への住み替えや介護つきホームへの入居意向を上回っている。

図表 2-44 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

		回答者数(人)	今の住まいで暮らし続けたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	介護しやすい住宅に住み替え介護を受けて暮らしたい	家庭的な小規模の介護つきのホームで暮らしたい	病院に入院したい	民間の介護つき有料老人ホームに入りたい	子どもの家などに移り介護を受けて暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		1,287	57.9	6.3	5.3	4.7	3.2	2.9	2.2	0.9	12.3	4.4
男女別	男性	531	60.6	6.6	4.9	2.4	2.1	2.6	2.6	0.8	13.4	4.0
	女性	726	56.2	6.1	5.6	6.5	4.0	3.2	1.7	1.0	11.6	4.3
年齢別	65～69歳	388	52.1	8.0	7.7	7.2	1.5	3.9	2.8	0.8	13.9	2.1
	70～74歳	380	61.1	5.0	5.0	4.5	3.2	2.6	1.6	1.1	11.6	4.5
	75～79歳	284	62.0	6.7	5.3	3.9	2.1	1.8	1.4	0.4	13.4	3.2
	80～84歳	120	60.8	4.2	1.7	0.8	10.0	1.7	2.5	1.7	9.2	7.5
	85歳以上	75	57.3	5.3	1.3	4.0	4.0	6.7	1.3	0.0	9.3	10.7
居住地域別	はなみずき	130	60.8	5.4	6.2	3.8	3.1	3.1	1.5	0.0	10.0	6.2
	たちばな	172	59.9	8.1	6.4	4.1	1.2	2.3	2.9	1.7	11.6	1.7
	こうめ	150	62.7	6.0	6.0	2.7	1.3	3.3	2.7	0.0	12.7	2.7
	なりひら	141	56.0	5.0	9.2	4.3	3.5	2.1	1.4	0.7	9.2	8.5
	うめわか	168	56.5	8.3	3.6	7.1	3.6	1.2	2.4	1.8	11.9	3.6
	同愛	168	56.0	3.6	3.6	4.2	6.0	4.8	1.8	2.4	11.9	6.0
	むこうじま	177	62.1	6.2	4.5	2.8	2.8	4.0	1.1	0.0	14.1	2.3
	みどり	149	51.7	6.7	2.0	8.7	4.0	2.7	2.7	0.0	18.1	3.4
家族形態別	ひとり暮らし	246	45.9	9.3	4.5	8.9	4.1	2.4	1.6	1.2	16.3	5.7
	夫婦のみ世帯	537	60.0	6.7	5.8	3.2	3.0	3.4	3.9	0.6	10.2	3.4
	世帯全員が65歳以上	30	50.0	10.0	10.0	3.3	0.0	10.0	0.0	0.0	13.3	3.3
	二世帯・三世帯等の世帯	434	63.4	4.4	4.8	4.4	3.2	2.3	0.2	1.2	12.0	4.1

男女別にみると、「今の住まいで暮らし続けたい」を希望する人の割合は、女性 56.2% に比べて、男性 60.6% と高い。

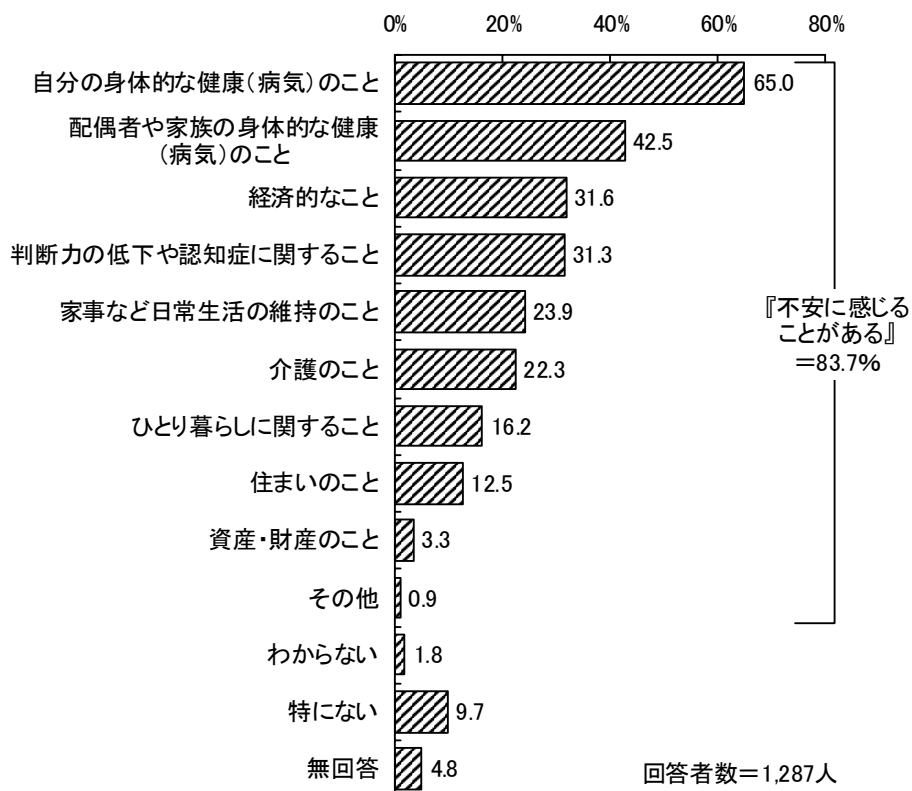
年齢別にみると、65～69歳の若い年齢層は、他に比べて「今の住まいで暮らし続けたい」割合が低く、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」「介護しやすい住宅に住み替え介護を受けて暮らしたい」「家庭的な小規模の介護つきのホームで暮らしたい」などを希望する割合が高い。

家族形態別にみると、ひとり暮らしの人は「今の住まいで暮らし続けたい」は4割台であり、他に比べて「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」「家庭的な小規模の介護つきのホームで暮らしたい」を希望する割合が高い。

(2) 今後の暮らしについて不安を感じる事(問19)

今後の暮らしについて、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-45 今後の暮らしについて不安を感じる事(複数回答)



※『不安を感じる』 = 100% - 「わからない」 - 「特にない」 - 「無回答」

今後の暮らしについては、8割強が『不安を感じる』と回答している。

具体的には、「自分の身体的な健康(病気)のこと」65.0%、「配偶者や家族の身体的な健康(病気)のこと」42.5%と、自身や家族の健康(病気)のことが不安の上位2位にあげられている。次いで、「経済的なこと」「判断力の低下や認知症に関する事」が3割台、「家事など日常生活の維持のこと」「介護のこと」が2割台で続いている。

図表 2-46 今後の暮らしについて不安を感じること

		回答者数(人)	自分の身体的な健康(病気)のこと	配偶者や家族の身体的な健康(病気)のこと	経済的なこと	判断力の低下や認知症に関すること	維持のこと 家事など日常生活の	介護のこと	ひとり暮らしに関する こと	住まいのこと	資産・財産のこと	その他	『不安に感じる ことがある』
全 体		1,287	65.0	42.5	31.6	31.3	23.9	22.3	16.2	12.5	3.3	0.9	83.7
男 女 別	男性	531	64.0	46.5	34.3	27.5	19.8	20.7	15.4	12.1	4.5	0.9	83.2
	女性	726	65.8	39.5	29.9	34.6	27.4	23.4	16.8	13.1	2.3	0.8	84.4
年 齢 別	65～69 歳	388	67.0	47.9	40.5	33.0	22.2	22.2	17.5	15.2	3.4	0.3	88.7
	70～74 歳	380	64.5	43.9	33.4	31.3	21.6	23.4	15.0	12.6	3.7	0.5	84.4
	75～79 歳	284	65.1	41.9	27.1	29.9	29.2	21.5	17.6	12.0	4.2	2.1	82.8
	80～84 歳	120	67.5	38.3	19.2	32.5	30.0	24.2	15.0	7.5	1.7	0.8	78.4
	85 歳以上	75	60.0	21.3	18.7	33.3	20.0	17.3	9.3	6.7	0.0	0.0	70.7
居 住 地 域 別	はなみずき	130	68.5	40.8	28.5	31.5	23.1	25.4	13.8	10.8	2.3	0.0	80.8
	たちばな	172	68.6	43.0	37.8	30.2	23.8	20.9	18.0	13.4	1.7	1.2	82.0
	こうめ	150	63.3	36.0	30.0	30.0	24.0	19.3	13.3	10.0	4.0	0.7	88.6
	なりひら	141	65.2	46.1	32.6	34.8	20.6	22.7	16.3	10.6	3.5	0.7	84.4
	うめわか	168	65.5	44.0	36.9	37.5	27.4	26.2	19.6	14.3	4.2	0.6	86.3
	同愛	168	63.7	46.4	26.8	26.8	23.8	21.4	14.9	16.1	2.4	0.0	82.8
	むこうじま	177	66.7	44.1	35.0	29.9	28.2	26.0	17.5	11.3	2.3	1.7	81.9
	みどり	149	59.7	39.6	24.2	31.5	20.1	17.4	14.1	12.8	5.4	2.0	83.3
家 族 形 態 別	ひとり暮らし	246	63.8	8.5	25.2	35.4	26.0	22.8	37.0	15.9	1.6	1.2	83.8
	夫婦のみ世帯	537	66.3	61.6	33.3	30.5	23.8	22.0	15.1	12.5	3.7	0.6	86.8
	世帯全員が 65 歳以上	30	63.3	46.7	43.3	33.3	30.0	33.3	13.3	6.7	0.0	0.0	83.4
	二世帯・三世帯 等の世帯	434	65.4	38.9	31.6	31.6	23.5	21.4	5.5	11.1	3.9	1.2	80.3

※「わからない」「特にない」「無回答」は、掲載を省略

※『不安に感じるがある』=100%－「わからない」－「特にない」－「無回答」

年齢別にみると、『不安に感じるがある』割合は、年齢層が低いほど高く 65～69 歳では 9 割弱を占める。具体的には、「自分の身体的な健康（病気）のこと」「配偶者や家族の身体的な健康（病気）のこと」に次いで、65～74 歳の年齢層では「経済的なこと」、75 歳以上の年齢層では「判断力の低下や認知症に関すること」の割合が高くなっている。

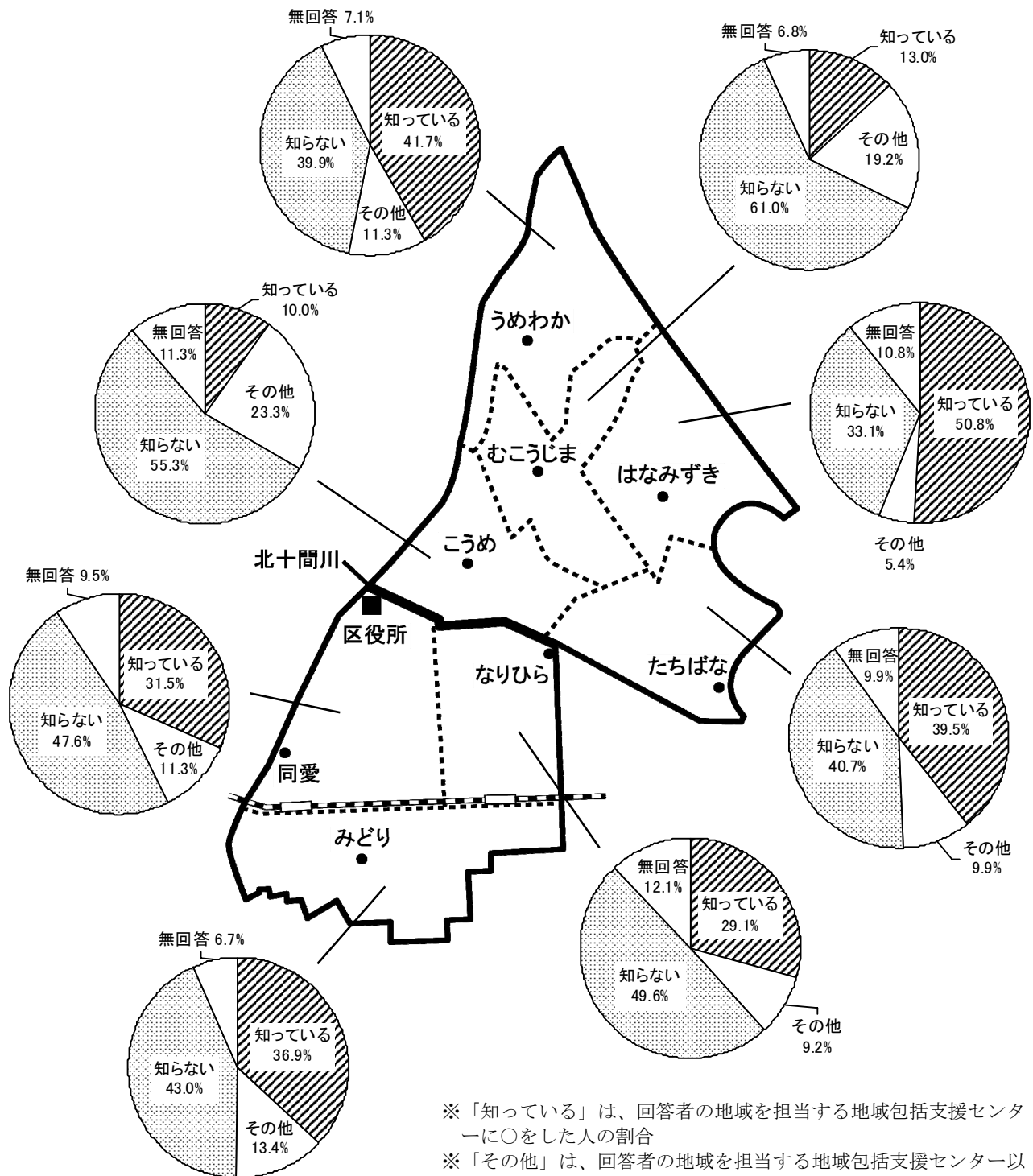
家族形態別にみた不安の内容の上位 2 項目は、ひとり暮らしの人では「自分の身体的な健康（病気）のこと」「ひとり暮らしに関すること」、夫婦のみ世帯及び二世帯・三世帯等の世帯の人では「自分の身体的な健康（病気）のこと」「配偶者や家族の身体的な健康（病気）のこと」となっている。

## 8. 介護保険や区の福祉保健施策に対する意向等

### (1) 担当する地域包括支援センターの認知度(問15)

あなた(あて名のご本人)は、あなたの地域を担当する地域包括支援センターはどこか知っていますか。(1つに○)

図表 2-47 担当する地域包括支援センターの認知度(単数回答)



※「知っている」は、回答者の地域を担当する地域包括支援センターに○をした人の割合  
 ※「その他」は、回答者の地域を担当する地域包括支援センター以外のセンターに○または「地域包括支援センターは知っているが、担当は知らない」と回答した人の割合

図表 2-48 担当する地域包括支援センターの認知度

		回答者数(人)	はなみずき地域包括支援センター	たちばな地域包括支援センター	こうめ地域包括支援センター	なりひら地域包括支援センター	うめわか地域包括支援センター	同愛地域包括支援センター	むこうじま地域包括支援センター	みどり地域包括支援センター	地域包括支援センターは知っているが、担当は知らない	知らない	無回答
全 体		1,287	7.5	5.7	1.2	4.0	6.1	5.0	2.6	4.6	7.3	46.4	9.8
居住地域別	はなみずき	130	50.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	33.1	10.8
	たちばな	172	2.9	39.5	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	6.4	40.7	9.9
	こうめ	150	1.3	2.0	10.0	4.0	0.7	0.7	4.7	0.0	10.0	55.3	11.3
	なりひら	141	1.4	0.0	0.0	29.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	49.6	12.1
	うめわか	168	3.6	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	0.6	0.0	7.1	39.9	7.1
	同愛	168	1.8	0.0	0.0	1.2	0.0	31.5	0.0	1.2	7.1	47.6	9.5
	むこうじま	177	5.6	0.6	0.6	0.6	2.8	1.1	13.0	0.0	7.9	61.0	6.8
	みどり	149	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	36.9	7.4	43.0	6.7

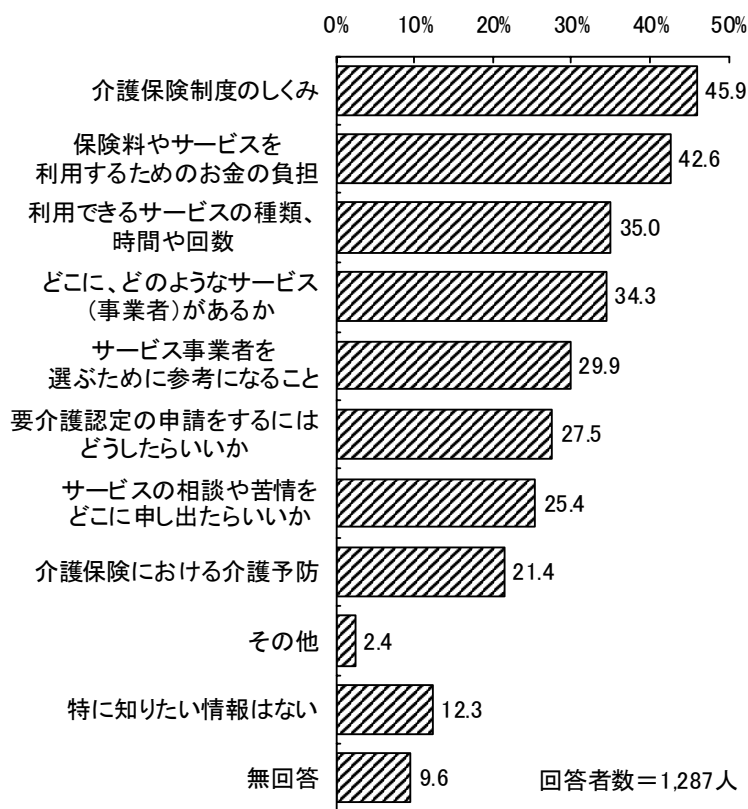
居住地域別に地域を担当する地域包括支援センターの認知度をみると、もっとも認知度が高いのは「はなみずき地域包括支援センター」であり、居住者の50.8%に認知されている。次いで、「うめわか地域包括支援センター」の認知度が4割強、「たちばな地域包括支援センター」「みどり地域包括支援センター」「同愛地域包括支援センター」の認知度が3割台で続いている。

「なりひら地域包括支援センター」の認知度は約3割、「むこうじま地域包括支援センター」「こうめ地域包括支援センター」の認知度は1割台であり、他に比べて低い割合となっている。

## (2) 介護保険について知りたい情報(問20)

介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなた(あて名のご本人)が知りたい情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-49 介護保険について知りたい情報(複数回答)



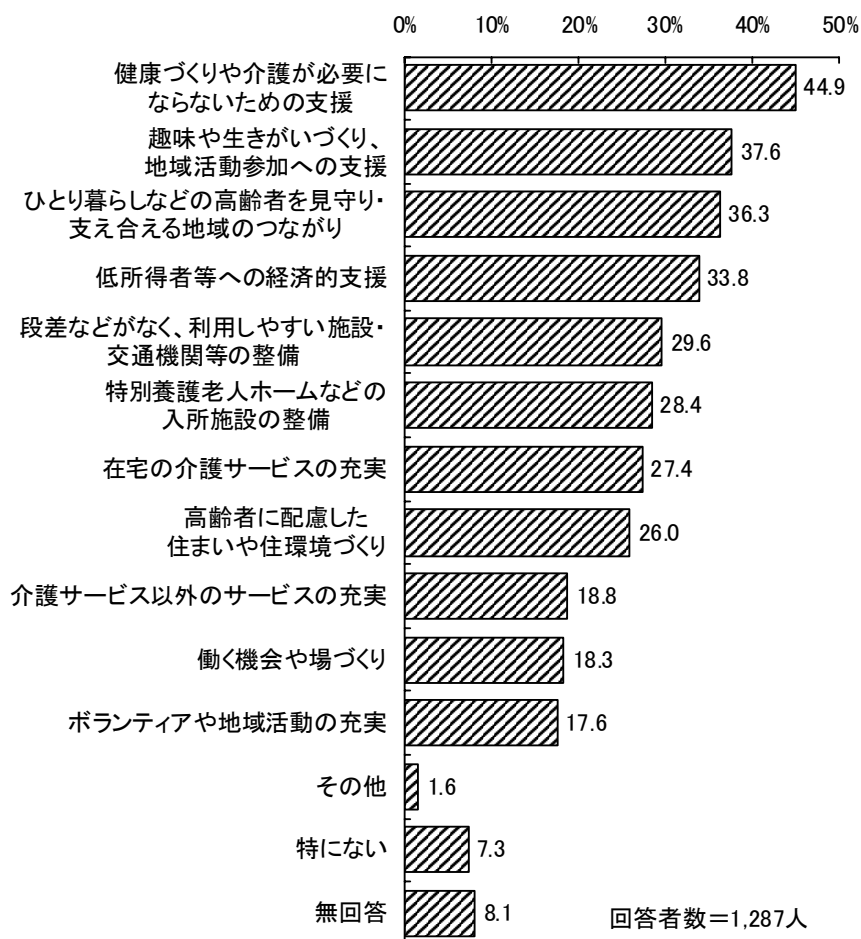
介護保険について知りたい情報としては、「介護保険制度のしくみ」45.9%、「保険料やサービスを利用するためのお金の負担」42.6%、「利用できるサービスの種類、時間や回数」35.0%の順であり、制度のしくみ、経済的負担、制度で利用できるサービスに関することが、上位3位にあげられている。

次いで、「どこに、どのようなサービス(事業者)があるか」34.3%、「サービス事業者を選ぶために参考になること」29.9%、「要介護認定の申請をするにはどうしたらいいか」27.5%の順で続いている。

### (3) 重要と思う高齢者福祉保健施策(問21)

高齢者が安心して、いきいきと暮らすことができるまちにしていけるために、あなた(あて名のご本人)が重要と思う取り組みはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 2-50 重要と思う高齢者福祉保健施策(複数回答)



重要と思う高齢者福祉保健施策をみると、第1位は「健康づくりや介護が必要にならないための支援」44.9%となっている。次いで、「趣味や生きがいづくり、地域活動参加への支援」「ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり」「低所得者等への経済的支援」が3割台、「段差などがなく、利用しやすい施設・交通機関等の整備」「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」「在宅の介護サービスの充実」「高齢者に配慮した住まいや住環境づくり」が2割台で続いている。



図表 2-51 重要と思う高齢者福祉保健施策

		回答者数(人)	健康づくりや介護が必要にならないための支援	趣味や生きがいがづくり、地域活動参加への支援	ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり	低所得者等への経済的支援	施設・交通機関等の整備	段差などがなく、利用しやすい	特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	在宅の介護サービスの充実	高齢者に配慮した住まいや住環境づくり	介護サービス以外のサービスの充実	働く機会や場づくり	ボランティアや地域活動の充実	その他
全体		1,287	44.9	37.6	36.3	33.8	29.6	28.4	27.4	26.0	18.8	18.3	17.6	1.6	
男女別	男性	531	41.4	37.5	30.3	33.0	26.2	25.6	25.6	23.4	13.9	22.4	17.7	0.9	
	女性	726	47.4	37.9	40.8	34.7	32.1	30.4	28.9	28.2	22.2	15.7	17.5	2.1	
年齢別	65～69歳	388	51.3	44.1	42.0	38.1	29.9	33.5	28.1	27.3	19.3	29.4	22.2	3.1	
	70～74歳	380	44.2	36.3	35.3	35.8	31.3	27.4	28.2	29.7	17.6	18.2	18.9	0.8	
	75～79歳	284	44.7	36.6	34.5	31.3	28.9	27.5	26.1	21.8	18.0	12.3	14.4	1.4	
	80～84歳	120	41.7	35.8	33.3	27.5	30.8	19.2	24.2	25.8	20.0	9.2	13.3	0.8	
	85歳以上	75	25.3	20.0	26.7	21.3	25.3	28.0	28.0	20.0	18.7	4.0	9.3	0.0	
居住地域別	はなみずき	130	46.2	32.3	33.8	36.2	31.5	27.7	28.5	22.3	12.3	12.3	17.7	1.5	
	たちばな	172	43.6	37.2	33.7	40.1	25.6	26.2	23.8	29.1	16.3	19.2	18.0	1.2	
	こうめ	150	39.3	35.3	32.0	33.3	29.3	27.3	24.0	22.7	14.0	18.7	15.3	0.7	
	なりひら	141	48.9	40.4	39.7	32.6	31.2	34.0	33.3	23.4	23.4	15.6	17.7	2.1	
	うめわか	168	48.8	37.5	44.6	36.3	32.1	29.2	28.6	32.1	24.4	25.0	23.2	1.8	
	同愛	168	40.5	37.5	34.5	29.8	31.0	29.8	27.4	26.2	19.6	13.7	11.3	1.2	
	むこうじま	177	46.3	39.0	32.8	36.7	29.4	27.1	27.7	24.9	20.9	22.0	16.4	2.3	
	みどり	149	47.0	44.3	41.6	24.8	29.5	28.9	28.9	27.5	17.4	19.5	23.5	2.7	
家族形態別	ひとり暮らし	246	40.2	32.5	50.8	30.9	23.2	24.4	26.4	23.6	17.1	15.0	13.8	2.4	
	夫婦のみ世帯	537	45.1	37.8	34.6	32.2	27.7	29.1	26.4	25.1	18.4	15.8	18.1	0.7	
	世帯全員が65歳以上	30	63.3	23.3	40.0	43.3	30.0	40.0	26.7	23.3	26.7	13.3	13.3	0.0	
	二世帯・三世帯等の世帯	434	46.5	41.5	30.9	37.1	35.7	29.3	30.4	29.0	20.0	24.4	19.8	2.5	

※「特にない」「無回答」は、掲載を省略

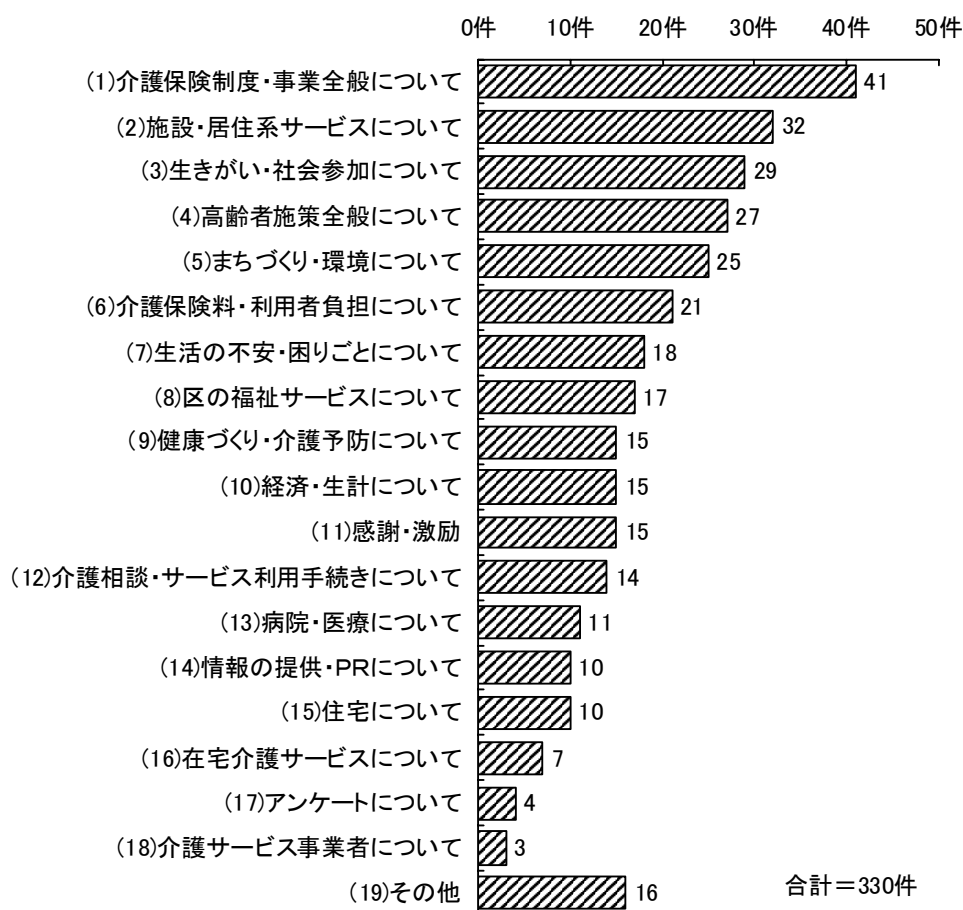
男女別にみると、男女とも第1位は「健康づくりや介護が必要にならないための支援」となっている。第2位は、男性は「趣味や生きがいがづくり、地域活動参加への支援」、女性は「ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり」となっている。

年齢別にみると、65～84歳の年齢層では「健康づくりや介護が必要にならないための支援」「趣味や生きがいがづくり、地域活動参加への支援」が上位2位であり、特に65～69歳の人の割合が高い。85歳以上の人では、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」「在宅の介護サービスの充実」が同率で第1位の要望となっている。

## 9. 区に対する意見・要望

高齢者への保健福祉サービスなどに関して、区へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

図表 2-52 区に対する意見・要望(自由意見)



### (1)介護保険制度・事業全般について 41件

- ・ 介護保険制度を事務デスク上のことだけでなく、もっと実態をみてそのうえで事務処理をしてもらいたい。
- ・ 要介護時にすみやかに認定できるようにして下さい。
- ・ 勤めていますので介護と言われてもピンと来ませんが、この先自分達が介護保険を使わなければいけない時に使えないような事のないようにしっかりやってほしいと思います。
- ・ 介護サービスを必要とする時には簡単に介護を受けられるようにしてもらいたい。
- ・ 長い間介護サービスを受けなかった者に対して特典があると良いと思います。
- ・ 健康な内に介護ボランティアに出て、介護銀行を作り、その回数は無料で受けられるようなサービス活動ができたらどうだろうと思いますが、今はあるのでしょうか？
- ・ 家族による介護の家庭に積極的に補助をしてほしい。

## (2)施設・居住系サービスについて 32 件

- ・ 墨田区内に特別養護老人ホームの増設。
- ・ 特別養護老人ホームなどの介護施設を増やし、介護を必要になった時に直ぐに入所できる様に取りくんでほしい。
- ・ 高齢者の福祉サービスも少しずつ充実してきていると思われませんが、認知症が進んで家族の負担が大変になった時の施設の対応はどうなっているか不安である。
- ・ お金のない人でも安心して入れるホームを作ってください。
- ・ ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できる区営の老人ホームを作ってください。
- ・ 統合された学校の利用について、老人ホームの施設の整備。
- ・ この先、夫婦のどちらかが福祉のお世話になった時など、家の近くの施設に入れたらと思います。毎日のようにお互いに顔をみせ合えたらと思います。

## (3)生きがい・社会参加について 29 件

- ・ 若い子育て中で就業中の人達が子どもさんのことで悩んだり手助けが必要な場合、何かお世話し、手助けができるようなことをしていけるような情報が知りたい。地域の子どもたちの健全育成に役立てる情報があれば知らせてほしい。
- ・ 男性の高齢者は（特にサラリーマンの定年者は）地域とのコミュニケーションがとれません。何かよい方策はないでしょうか？
- ・ 集会所等の利用料金がもう少し安い料金でお願いできればと思います。
- ・ 介護を受ける人をなるべく少なくする様に、人生最後まで現役という生きがいのある生活のできる行政にして頂きたい。老人といわずいつまでも働き役に立ちたいと思っている人が大勢いると思います。
- ・ 高齢者が介護を受けるだけでなく仕事ができ趣味を活かして楽しめる方向に持っていかれるのが望ましいと思います。
- ・ レクリエーションの場（将棋・囲碁・卓球・図書など娯楽）が近隣にあると、健康維持に有意義で高齢者同士の交流が深まると思いますので、考慮して頂きたい。
- ・ 私、個人としては現在健康に生活しておりますので働く機会や場作りを特に希望しております。とにかく働けるうちは働いていたいと思っております。

## (4)高齢者施策全般について 27 件

- ・ これからも高齢者対策よろしくをお願いします。民生委員の方々に頼ることのないよう、又役所の職員の皆さんが地域に出て来てほしいのではないのでしょうか。
- ・ 職員、議員の報酬をはじめ市民の感覚から外れた無駄な経費を福祉に振り分けてほしい。
- ・ 区の福祉サービス事業は、かなり向上してきていると思います。尚、一層のご努力をお願いします。信頼と共生、健康で生きがいをよろしく。
- ・ 高齢者に行政の連絡、お知らせ等が不透明。
- ・ 高齢者への福祉サービスはもう十分行き届いていると思います。これからは子育てとか、人口増加のためのサービスが必要かと思います。
- ・ 身体的には年々不具合が出てくるのですが、精神的には若い人と同じ様な気がします。高齢者とひとくくりにしらない、端に追いやらない。年齢や外観で判断しない。特に「～をしてあ

げる」のではなく「～があるので必要ならどうぞ」が良い。

#### (5)まちづくり・環境について 25 件

- ・ 老人会館の老朽化と階段のために、活動や会合に参加できない老人が長寿化につれて多くなりました。改修してエレベーターができないかと夢をみております。
- ・ 父を乗せて車いすで歩くのですが道路が悪すぎます。
- ・ 散歩コースの旧中川の土手が折角きれいになったのに犬の糞がいっぱいです。安心して歩く事ができる様に考えて下さい。犬を連れた人は入らないとか？
- ・ 散歩したくなるような緑の多い公園をぜひ作ってください。朝早く起きて散歩しても、スモッグなどでどんよりした空気です。朝早く起きる気力がわきません。
- ・ 私は図書館へ本を借りによく行きます。ゆっくり読書できる高齢者だけの室があったらと思います。身体につかれない椅子などあったら助かると思います。
- ・ 高齢者の事を考えてくださるのは有難いが、その前に若い人が出て行かない又は若い人が入って来る町にする方が先決かなと思っています。
- ・ 歩道が狭い所が多く自分では注意していても自転車に乗った人に後から引っ掛けられたり、こすられたりと怪我する人が多いので交通マナーを徹底してほしい。

#### (6)介護保険料・利用者負担について 21 件

- ・ 介護保険料をもう少し少なくしてほしいです。
- ・ 利用していない人の介護保険料が高すぎると思います。利用者と非利用者の保険料を一考できないものかと？
- ・ 老人ホームの料金が高すぎる。
- ・ 介護保険料が高すぎると思います。それに比べ介護を利用する際の負担金が高いのではないかと思います。最後まで元気でいられる様に心がけたいと思います。
- ・ 今の所介護を受ける必要がないのでなんとなく関心が薄い。したがって毎月の介護保険料を支払うのが馬鹿らしいと思う時がある。
- ・ 高齢者が介護や福祉サービスを使用せずに亡くなった場合、介護保険料の納付期間に合わせて戻し金を払い戻すという提案はいかがでしょうか。

#### (7)生活の不安・困りごとについて 18 件

- ・ 配偶者が認知症なのでこれからが心配です。
- ・ 同居人が皆高齢のため、もし誰か倒れたら、色々心配なことがあります。
- ・ 年金暮らしのため生活の事が心配です。
- ・ 私自身 93 歳の母がおります。母の介護を今一番考えております。自分も老いていく中、母の世話、自分の健康等不安が有ります。
- ・ 駅に近いのに毎日の買物ができず、スーパー迄は少々遠いので買物に不安を感じています。
- ・ 娘の嫁ぎ先で全部世話になっておりますので、体が動けなくなった場合これ以上迷惑をかける訳にもいかず、動けなくなった時の事を考えると寝れなくなる事があります。貯金もないし心細い日常で生きております。

## (8) 区の福祉サービスについて 17 件

- ・ひとり暮らしの高齢者を見守るために民生委員、町会、ボランティア等々定期的に訪問してほしい。孤独死など無いように。
- ・高齢者の見守り。マンションあるいは地域のつながりがあるといいと思います。
- ・ひとり住いなので、倒れた時だれにも気づかれずに何日でもそれ以上そのままになってしまいます。たとえば1日ポットが使われなかったら様子を見に来て下さるとか、そんな取組みをして下さる事を切に願ってます。
- ・膝を痛めて歩行ができず治療にタクシーを使用した場合、補助券又は補助費用が出る様な制度がほしいと思います。
- ・高齢者への無料パス（乗り物）が一律に頂けたら、もっと元気に外出される人も多くなるのにと毎年思っています（有料のため）。
- ・お風呂のサービスが所得制限で利用できない事は困ります。高齢者が希望する人にお風呂のサービスが受けられる様をお願い致します。

## (9) 健康づくり・介護予防について 15 件

- ・介護予防の取り組みが最も必要かつ重要な問題ではないかと思えます。要介護者にならないために日頃の生活はどうあるべきか、PRと支援をお願いします。
- ・基本は病気にならないように健康づくりが一番。そして健康診査です（小生、区の健康診査のお陰で胃ガンが発見され、1年前に手術し現在健康になりました）。
- ・現在認知症の母を介護中。少しでも早く診察を受けられる様、ある年齢に達したら区の方から調査する手立てを講じたら、進行を遅らせる等できるのでは。隠れ認知症の方が大勢いると思われれます。
- ・近くに健康増進施設があれば予防も持続的に可能である。民間のトレーニングセンターを利用しているも経済的負担が大きい。何らかの補助又は税額控除等をしてほしい。
- ・みんなができる健康体操など考えて頂きたい。場所が遠いと行かれませので、区で何か所かでおねがいしたい。太極拳等もやりたい。

## (10) 経済・生計について 15 件

- ・私は姉を介護しております。頻尿でおむつが大変。金銭的に大変です。
- ・税金が高すぎる。
- ・今は何も不自由はありませんが、主人がいなくなったら自分の年金だけでは生活できません。今はそれが1番心配です。
- ・年金が不完全なので将来が不安です。
- ・趣味や生きがいをみつけないと思ってしまうが、年金生活のため、なにをするにも費用がかかると思うと二の足をふみます。病気になった時の費用が一番心配です。物価が高くなってきている今、将来年金で生活ができるかと思うと不安がいっぱいです。

### (11)感謝・激励 15 件

- ・ 困難な財政事情の中で高齢者に種々の施策をとって頂いて誠にありがとうございます。我々高齢者はできるだけ人のお世話にならぬ様一人ひとりが注意して生活することが肝要と考える。可能ならばピンコロで生涯を終える事が最大の望みであります。
- ・ 大変な取り組みとは思いますが、期待しています。地域のつながりを深くできるよう、役所の方の協力を期待します。
- ・ 墨田区への要望などありません。墨田区に住んで本当に良かったと思っています。介護などしないですむように協力していきますのでよろしくお願いします。

### (12)介護相談・サービス利用手続きについて 14 件

- ・ 介護の申請から認定まで1か月もかかるのは、早くできるようにお願いします。
- ・ 体の自由がきかなくなった時、本当に心からやさしく相談したり気を配ってくださる方が来てくだされば嬉しく思います。また、そうした時の御礼とか心づかいをどうしたらよいかも知りたいです。
- ・ あまり保健福祉のサービスなど知らないなので、教えてもらいたいです。
- ・ 手続き等なんでも簡単明快にしてほしい！！シンプルが1番。
- ・ 最終的にひとりになった時はどこへ相談したらよいのでしょうか、不安です。

### (13)病院・医療について 11 件

- ・ 急病の時年齢を聞いて病人を選ぶ病院がない様にしてほしい。
- ・ 後期高齢者医療制度の件、特に保険料を年金から徴収されては生活権が侵害されるのではないかととても不安です。生存し生活を営む事が重要で次に医療ではないかと考えます。
- ・ 主人の介護を10年しましたがその間入退院を20回以上しました。病院の個室料1日15,000円には経済的に大変でした。同じ患者を同室にすれば又そうして頂ければ負担が少なくすむのにと考えてます。

### (14)情報の提供・PRについて 10 件

- ・ 宣伝カー等によるPRをする(広報誌など読む人が少ないと思う。広報誌等は専門用語が多く、わかりやすく説明する事等)。
- ・ 高齢者が安心して生活できる保健福祉の勉強会等がありましたら是非参加したいと思っています。よろしくお願いします。
- ・ 介護保険の内容についての具体的な説明を改めて詳しく知りたいと思います。

### (15)住宅について 10 件

- ・ 88歳で健康ですが足腰が弱く、つえが必要です。食事の支度、洗濯機での洗濯はできますが、掃除はできません。掃除をしてくれる老人用の1DK位の安いアパートがあったらと思います。
- ・ いくら都営住宅に申込みをしても落選ばかり。25年も高い家賃を払っている。何とかして下さい。
- ・ 持家でも狭い家なので都営住宅等の申込みができる様になるといいなと思います。

#### (16)在宅介護サービスについて 7件

- 短期入所介護（生活及び療養）が自由に利用できる（効率的）ことを望む。入所（特養）困難な現在、せめてショートステイの利用の利便性等を考慮されたい。
- 介護のための掃除、洗濯、食事の支援等低価格で助けて頂くこと。介護サービスの方が親切である事、その他の事をよく教育していただきたい。
- 介護の時間を最低2時間位にしてもらおうといいと思います。時間がたりないと思います。

#### (17)アンケートについて 4件

- 本当に生活実態が知りたいのなら、訪問して調査をお願いしても良いのではないのでしょうか。
- アンケートの集計は区民だより等で発表すると良い。現実に遭遇しないと細かい事に不勉強。

#### (18)介護サービス事業者について 3件

- 程度の悪い介護サービスの事業所をよく指導して下さい。
- 介護センター（在宅を含む）の内容について悪い噂をよく聞きます。どうか安全で安心ができる介護サービスが受けられるようご指導のほどお願い致します。

#### (19)その他 16件

- 財政赤字にならない区政を望む。
- この間、区のお知らせの回覧板がきました。メタボリックシンドロームは生活習慣病のもと・・・とありましたがメタボリックシンドロームとは、こんな事なので生活習慣病になるのですよという様に説明してほしかった。これからは理解できる言葉を使ってほしいです。
- 高齢者のためにも、次世代をになう若い人達のためにも、保健所の整備が是非必要と思います。